

能力開発 セミナーガイド 2026

2026年4月 → 2027年3月

企業の成長のカギは社員のスキルアップ
未来を切り拓く人材育成を支援します

目次

近畿職業能力開発大学校とは	p.2	よくあるご質問	p.38
能力開発セミナー受講のご案内	p.3	オーダーメイド型能力開発セミナーのご案内	p.39
能力開発セミナー年間実施カレンダー	p.4	オーダーメイド型能力開発セミナー実施実績	p.40
能力開発セミナー推奨コース体系	p.8	技術支援のご案内	p.41
コース内容		事業主推薦制度のご案内	p.42
機械系	p.10	各種支援制度のご案内	p.43
電気・制御系	p.19	生産性向上支援訓練のご案内	p.44
電子・情報通信系	p.21	高度ポリテクセンターのご案内	p.44
建築系	p.25	施設・設備利用のご案内	p.45
管理系	p.31	能力開発セミナー受講申込書	p.46
		能力開発セミナーキャンセル・受講者変更届	p.47

近畿職業能力開発大学校とは

近畿職業能力開発大学校は、厚生労働省が所管する独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が職業能力開発促進法に基づいて設立した大学校です。

当大学校では、企業・事業主団体の人材育成・教育訓練である『**能力開発セミナー（在職者訓練）**』と、高校卒業者等を対象とした実践技術者及び生産部門のリーダーを育成する『**高度技能者養成訓練（学卒者訓練）**』を実施しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/>

貴社の人材育成・教育訓練を支援します！

p.3

企業の成長・発展には、競争力及び経営資源を強化する「人材育成」が欠かせません。

当大学校では、企業の生産現場で働く在職者の皆様が抱える課題解決のため、生産性の向上や業務の改善、新たな製品の創造に必要な専門知識と技能・技術を習得する『**能力開発セミナー**』を実施しています。

当大学校で実施した能力開発セミナーは、企業の方々から高い評価を得ています。

たとえば、2024 年度に受講された約 200 事業所を対象とした満足度アンケート調査では、**事業主の 91.3%、受講者の 99.5%**から「満足した」との評価をいただいております。

当大学校の専門講師陣が指導にあたり、生産などの実習場やCADシステム、マシニングセンタ等の当校システム・機器を活用して実践的な能力開発を行っています。

ニーズに合った社員教育はいかがですか？

p.38

能力開発セミナーには、企業・事業主団体の人材育成ニーズに基づき設定された講座に、受講希望者を募集する**レディメイド型**（本ガイド掲載分）と、企業・事業主団体の皆様のご要望に合わせて実施する**オーダーメイド型**の2種類があります。

- ・本ガイドに掲載されているセミナーを受講させたいが、日程が合わない。
- ・社員教育を行いたい、適切な研修が開催されていない。
- ・自社の教育ニーズに合った研修を実施したい。
- ・自社の施設・設備を使用して研修を実施したいが、講師がいない。

等々

このような課題を抱えておられる場合は、『**オーダーメイド型能力開発セミナー**』についてご相談ください。

技術支援のご案内

p.40

当大学校では、技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等に係る技術支援を行っています。

当大学校の施設・設備利用のご案内

p.45

企業・事業主団体の皆様が行う教育訓練や人材育成を目的とした研修の場として、当大学校の施設・設備の開放を行っています。

能力開発セミナー受講のご案内

※ 必ずお読みください。

研修場所

近畿職業能力開発大学校（一部のコースは研修場所が異なります）

研修時間

10:00～16:45（一部のコースは研修時間が異なります）

受講料

各受講料は消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

定員

お申込みの時点で定員を超える場合は「キャンセル待ち」となります。また、受講希望者が少人数の場合は、中止させていただくことがあります。

申込方法と受講までの流れ

受講申込

お申込みはFAX・メール・オンラインフォームでの受付となります。

- ・受付 随時（巻末の受講申込書に必要事項を記入しFAXまたはメールしてください）
- ・締切 原則として各コース開始日の14日前とさせていただきます。以降のお申込みはお問い合わせください。
- ・オンライン申し込みフォーム<外部リンク（Microsoft Forms）>
- ・令和8年度途中より、全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。詳しくは、ホームページ上でお知らせする予定です。



受理通知

お申込み後、受講の可否を郵送等にてお知らせします。

- ・「受理通知書」または「キャンセル待ち通知書」をお送りします。
- ・キャンセル待ちでも、受講可能になった場合は、電話にてご連絡します。電話連絡がない場合は、キャンセルが発生しなかったものとしてご了承ください。

受講案内

セミナー開始日の約1ヶ月前に受講案内をお送りします。

- ・受講票と請求書を送付します。

受講料

セミナー開始日の14日前（土日・祝日含む）までにお振込みください。

- ・受講料は消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。
- ・納入された受講料を他のコースへ振り替えることはできません。

キャンセル

セミナー開始日の14日前（土日・祝日含む）を過ぎてからのキャンセルは、受講料を全額ご負担いただきます。

- ・キャンセルの場合は、巻末の「キャンセル・変更届」に必要事項を記入等して、必ずFAX・メール等にてご連絡ください。

受講当日

受講票をご持参ください。

- ・受講票裏面に「実施会場」が記載されていますので、直接会場にお越しください。（教室変更の可能性がありますので、初日は本館前の案内を確認ください）



お問合せ先



近畿職業能力開発大学校

E-mail:kinki-seisan@jeed.go.jp

援助計画課

TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

能力開発セミナー年間実施カレンダー①

区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2026年												2027年			頁
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
機械系	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	MA121	12	21,500	8/17(月) 8/18(火) 8/19(水) 8/20(木)																
		MA122			12/11(月) 12/20(火) 12/3(水) 12/4(木)																
	設計に活かす3次元CADアセンブリ技術	MA131	12	17,500	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)																
	設計者CAEを活用した構造解析	MA141	12	11,500	8/19(水) 8/20(木) 8/21(金)																
	2次元CADによる機械製図技術	MA151	15	16,500	5/25(月) 5/26(火) 5/27(水)																
		MA152			10/5(月) 10/6(火) 10/7(水)																
	実践機械製図	MA171	10	15,000	5/18(月) 5/19(火) 5/20(水)																
	幾何公差の解釈と活用演習	MA251	12	10,000	9/30(水) 10/1(木)																
	手戻りを減らす構想設計技術	MA191	12	27,500	8/3(月) 8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)																
	設計プロセス実践	MA201	12	23,500	2027 3/23(火) 3/24(水) 3/25(木)																
	治具設計の勘どころ	MA211	10	20,000	2027 1/14(木) 1/15(金)																
	機械設計のための総合力学	MA221	12	16,000	8/26(水) 8/27(木)																
	機械設計技術者のための力学(熱力学・流体力学編)	MA231	12	14,500	10/6(火) 10/7(水)																
	機械設計技術者のための実践流体力学	MA241	12	19,500	11/25(水) 11/26(木)																
	マシニングセンタプログラミング技術	MB111	10	11,500	6/16(火) 6/17(水) 6/18(木)																
	マシニングセンタ加工技術	MB121	10	17,000	7/14(火) 7/15(水) 7/16(木)																
	〈旋盤セットコース〉 旋盤加工技術(外径加工編) & 旋盤加工技術(内径加工編)	MB131	10	21,000 (各10,500)	8/4(火) 8/5(水)																
		MB141			8/6(木) 8/7(金)																
	機械組立仕上げのテクニック	MB151	10	21,000	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)																
	〈フライス盤セットコース〉 フライス盤加工技術(六面体加工編) & フライス盤加工技術(段・溝加工編)	MB161	6	32,000 (各16,000)	8/18(火) 8/19(水)																
MB171		8/20(木) 8/21(金)																			
〈NC旋盤セットコース〉 NC旋盤プログラミング技術 & NC旋盤加工技術	MB181	10	20,000 (MB181:8,000 MB191:12,000)	10/6(火) 10/7(水)																	
	MB191			10/8(木) 10/9(金)																	
工具研削実践技術	MB201	10	28,000	11/24(火) 11/25(水) 11/26(木)																	
精密測定技術	MD111	10	12,000	4/14(火) 4/15(水)																	
	MD112			6/9(火) 6/10(水)																	
	MD113			10/14(水) 10/15(木)																	
	MD114			11/10(火) 11/11(水)																	
幾何公差の解釈と測定技術	MD131	10	13,000	10/6(火) 10/7(水)																	
解析ツールを活用した機械の疲労寿命設計法	C0861	14	20,500	6/18(木) 6/19(金)																	
	C0862			8/3(月) 8/4(火)																	
機械材料の特性と選定技術	Z102A	10	16,500	5/27(水) 5/28(木)																	
電気・制御系	有接点シーケンス制御の実践技術	SA111	10	15,000	8/3(月) 8/4(火)																
	PLC制御の回路技術 ～三菱FXシリーズ～	SA141	6	19,500	8/26(水) 8/27(木) 8/28(金)																

能力開発セミナー年間実施カレンダー②

区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2026年												2027年			頁
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
電気・制御系	ロボットシミュレーション活用技術	SA151	7	12,000	5/23(土) 5/30(土)															19	
	産業用ロボット活用技術	SA161	6	16,000	2027 1/26(火) 1/27(水)													新設		19	
	静電対策と測定技術	SD181	10	8,000	2027 1/21(木) 1/22(金)															20	
	実践的 PLC 制御技術 ～三菱 FX シリーズ～	SX121	6	13,500	5/9(土) 5/10(日)															20	
	実践的 PLC 制御技術 ～三菱 FX シリーズ～	SX131	6	13,500	8/24(月) 8/25(火)															20	
	高圧電気設備の保守点検技術	SX171	10	10,000	2027 3/15(月) 3/16(火)															20	
電子・情報通信系	組込み技術者のためのプログラミング ～「実践組込み技術講座シリーズ」STEP1～	EA111	10	13,000	7/27(月) 7/28(火)															21	
	マイコン制御システム開発技術 ～「実践組込み技術講座シリーズ」STEP2～	EA121	10	12,000	7/29(水) 7/30(木) 7/31(金)															21	
	組込みシステム開発におけるプログラミング実践 ～「実践組込み技術講座シリーズ」STEP3～	EA131	10	9,500	8/3(月) 8/4(火)															21	
	オペアンプ回路の設計・評価技術	EA141	10	12,500	8/20(木) 8/21(金)															21	
		EA142			10/26(月) 10/27(火)																
	IoT・センサネットワークのための 小電力無線技術< BLE 編 >	EA191	10	20,000	8/20(木) 8/21(金)															22	
	センサを活用したIoTアプリケーション 開発技術 (BLE センサをつなぐ)	EA201	10	16,000	9/3(木) 9/4(金)														新設	22	
	製造現場におけるLAN活用技術	EA211	10	13,000	2027 3/15(月) 3/16(火)															新設	22
	表計算ソフトを活用したデータ通信 プログラミング < ExcelVBA 編 >	EA221	10	15,000	10/7(水) 10/14(水)															22	
		EA222			2027 2/24(水) 2/25(木)																新設
	AI 活用による画像認識システムの 開発< Python 編 >	EA231	10	15,000	10/21(水) 10/28(水)															22	
		EA232			2027 3/24(水) 3/25(木)																新設
	リアルタイム OS による 組込みシステム開発技術	EA241	10	8,500	11/19(木) 11/20(金)															23	
		EA242			2027 3/15(月) 3/16(火)																
	製造現場におけるIoT センシング 技術	EA251	10	21,500	8/13(木) 8/14(金)															23	
	ZigBee によるワイヤレス・ センサ・ネットワークの構築	EA361	10	18,500	8/6(木) 8/7(金)															23	
	製造業におけるデータベース活用 技術< VisualStudio (C#) 編 >	EX241	10	20,000	8/20(木) 8/21(金) 8/22(土)															23	
		EX242			2027 3/18(木) 3/19(金) 3/20(土)																
Web-DB システムを利用した生産 支援システムの構築< PHP 編 >	EX251	10	22,000	8/3(月) 8/4(火) 8/5(水)															23		
	EX252			12/23(水) 12/24(木) 12/25(金)																	
RLC 回路の設計・評価技術	B2001	10	14,000	5/12(火) 5/13(水)															24		
	B2002			7/22(水) 7/23(木)																	
	B2003			9/24(木) 9/25(金)																	
	B2004			2027 1/20(水) 1/21(木)																	
トランジスタ回路の設計・評価技術	B2011	10	14,000	5/27(水) 5/28(木)															24		
	B2012			8/5(水) 8/6(木)																	
	B2013			11/5(木) 11/6(金)																	
	B2014			2027 2/3(水) 2/4(木)																	

能力開発セミナー年間実施カレンダー③

区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2026年												2027年			頁
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
電子・情報通信系	F E T回路の設計・評価技術	B2021	10	14,000	6/10(水) 6/11(木)																
		B2022			9/9(水) 9/10(木)																
		B2023			11/25(水) 11/26(木)																
	センサ回路の設計技術	B2071	10	19,000	8/26(水) 8/27(木) 8/28(金)					新設											
		B2072			10/27(水) 10/28(木) 10/29(金)							新設									
		B2073			2027 1/5(火) 1/6(水) 1/7(木)														新設		
	デジタル回路設計技術	B2081	10	19,000	7/7(火) 7/8(水) 7/9(木)					新設											
		B2082			10/14(水) 10/15(木) 10/16(金)							新設									
		B2083			12/2(水) 12/3(木) 12/4(金)													新設			
	マイコン制御システム開発技術 (組込みスクリプト言語編)	B5301	10	15,000	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)																
IoT 機器を活用した組込みシステム開発技術 (組込み中間言語編)	B5311	10	15,000	9/28(月) 9/29(火) 9/30(水)																	
組込みデータベースシステム開発技術 (組込み汎用データベース編)	B5321	10	11,000	9/24(木) 9/25(金)																	
実習で学ぶ画像処理・認識技術	B7901	10	11,000	9/17(木) 9/18(金)																	
建築系	実践建築設計 2次元 CAD 技術 <使用ソフト: AutoCAD >	KA101	10	10,500	4/21(火) 4/22(水)																
		KA102			12/23(水) 12/24(木)																
	実践建築設計 2次元 CAD 技術 <使用ソフト: Jw_cad >	KA111	10	11,000	6/2(火) 6/3(水)																
		KA112			8/4(火) 8/5(水)																
	在来木造住宅設計実践技術 <使用ソフト: Jw_cad >	KA121	10	11,500	8/18(火) 8/19(水)					新設											
	実践建築設計 3次元 CAD 技術 <使用ソフト: 3D マイホームデザイナー >	KA131	10	12,000	5/9(土) 5/16(土)																
	BIM を用いた建築設計技術 ~これから BIM を使ってみたい方に~ <使用ソフト: Archicad >	KA141	10	12,000	8/5(水) 8/6(木)																
		KA142			12/24(木) 12/25(金)																
		KA143			2027 3/24(水) 3/25(木)																
	BIM を用いた建築設計技術 (モデリング編) ~これから BIM を使ってみたい方に~ <使用ソフト: Revit >	KA151	10	12,000	5/12(火) 5/19(火)																
		KA152			8/3(月) 8/4(火)																
	BIM を用いた建築設計技術 ~モデリングからステップアップを目指す方に~ <使用ソフト: Revit >	KA161	10	12,000	12/22(火) 12/23(水)																
	BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト: GLOOBE Architect >	KA171	10	12,000	8/20(木) 8/21(金)					新設											
	BIM を用いた建築生産設計技術 <使用ソフト: GLOOBE Construction >	KC181	10	12,000	9/29(火) 9/30(水)						新設										
	建築設計のための コンピューショナルデザイン	KA191	10	14,000	6/3(水) 6/10(水)																
	建築生産における 3Dスキャナ活用技術	KA201	10	8,500	2027 3/23(火) 3/24(水)																
	AR を活用した 建築プレゼンテーション技法	KA271	10	14,000	8/17(月) 8/18(火)					新設											
	サステナブル住宅の企画設計	KA211	10	16,500	2027 3/15(月) 3/16(火)																
	木造住宅における壁量計算技術	KA221	10	12,500	8/20(木) 8/21(金)																
	省エネルギー住宅及び 低炭素建築物の計画実践技術	KA231	10	8,000	6/6(土) 6/7(日)																
KA232		10/3(土) 10/4(日)																			
KA233		2027 1/9(土) 1/10(日)																			

能力開発セミナー年間実施カレンダー④

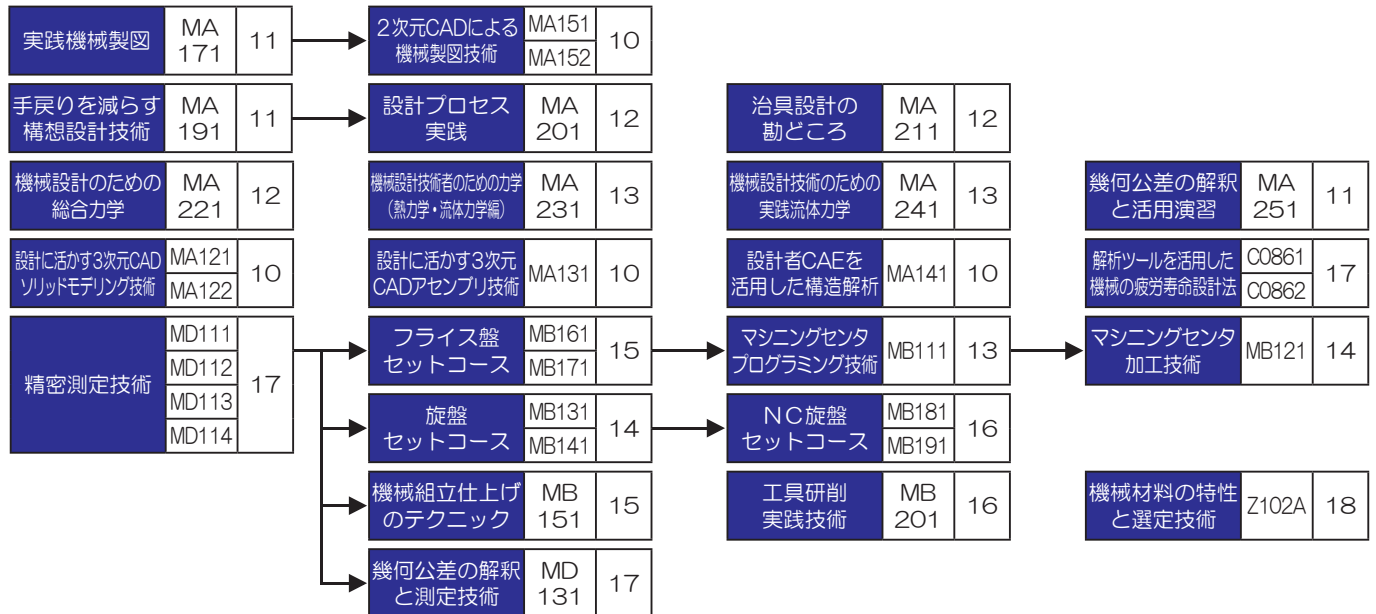
区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2026年												2027年			頁					
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
建築系	室内温熱環境設計技術	KA241	10	9,000	8/6(木) 8/7(金)																			29		
	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	KA251	10	8,500	8/20(木) 8/21(金)																				30	
	地理情報システムの運用技術	KA261	10	10,500	8/20(木) 8/21(金)																				30	
	技能継承と生産性向上のためのOJT指導者育成<建設業編>	PZ192	15	12,000	2027 1/7(木) 1/8(金)																			新設	30	
管理系	生産機械設備の自動化技術	PA011	15	25,500	9/7(月) 9/8(火) 9/9(水)																				31	
	製造現場改善のIE活用技術	PX121	12	13,000	5/26(火) 5/27(水)																				31	
	生産現場のための実践作業標準	PX131	15	16,000	10/1(木) 10/2(金)																				31	
	生産現場に活かす品質管理技法	PX151	15	16,000	12/17(木) 12/18(金)																				32	
	生産性向上のための統計解析手法を活用した品質管理	PX161	10	16,000	4/16(木) 4/17(金)																				32	
	成功事例から学ぶ品質の維持と向上	PX181	15	14,500	7/6(月) 7/7(火)																				32	
	製造現場の業務改善のための問題解決技法	PX191	15	14,500	2027 1/18(月) 1/19(火)																				32	
	QC 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	PX201	12	12,500	10/13(火) 10/14(水)																					33
	新 QC 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	PX221	12	12,500	7/21(火) 7/22(水)																					33
	なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	PX271	15	14,500	5/11(月) 5/12(火)																					33
		PX272			12/14(月) 12/15(火)																					
	実践生産性改善	PX281	12	13,500	2027 3/9(火) 3/10(水)																					34
	製造業における実践的生産管理	PX291	12	18,000	8/27(木) 8/28(金)																					34
	製造現場で活用するコーチング手法	PZ111	15	15,000	5/21(木) 5/22(金)																					34
		PZ112			11/5(木) 11/6(金)																					
	現場の安全確保(5S)と生産性向上	PZ121	12	12,500	6/2(火) 6/3(水)																					35
		PZ122			2027 2/9(火) 2/10(水)																					
	製造現場における部下育成に必要な指導能力及び技法	PZ131	15	13,500	6/11(木) 6/12(金)																					35
		PZ132			12/3(木) 12/4(金)																					
	技能伝承のための部下・後輩指導育成	PZ141	15	13,500	9/17(木) 9/18(金)																					35
	製造現場担当者の実践力向上	PZ151	15	14,500	4/6(月) 4/7(火)																					36
	仕事と人を動かす現場監督者の育成	PZ161	15	14,500	10/13(火) 10/14(水)																					36
	生産現場で活用するリーダーシップ手法	PZ171	15	13,500	10/22(木) 10/23(金)																					36
製造現場における生産実務と安全衛生	PZ181	15	16,000	2027 2/24(水) 2/25(木)																					37	
技能継承と生産性向上のためのOJT指導者育成	PZ191	15	16,000	4/27(月) 4/28(火)																					37	
ヒューマンエラー防止実践手法	PZ201	12	13,000	4/21(火) 4/22(水)																					37	
	PZ202			8/4(火) 8/5(水)																						

能力開発セミナー推奨コース体系①

体系的に受講いただくことにより、技能・技術のさらなる向上が図れます。
管理系につきましては、いずれも単独のコースとして設定しています。

※左から訓練コース名、コース番号、頁数を記載しています。

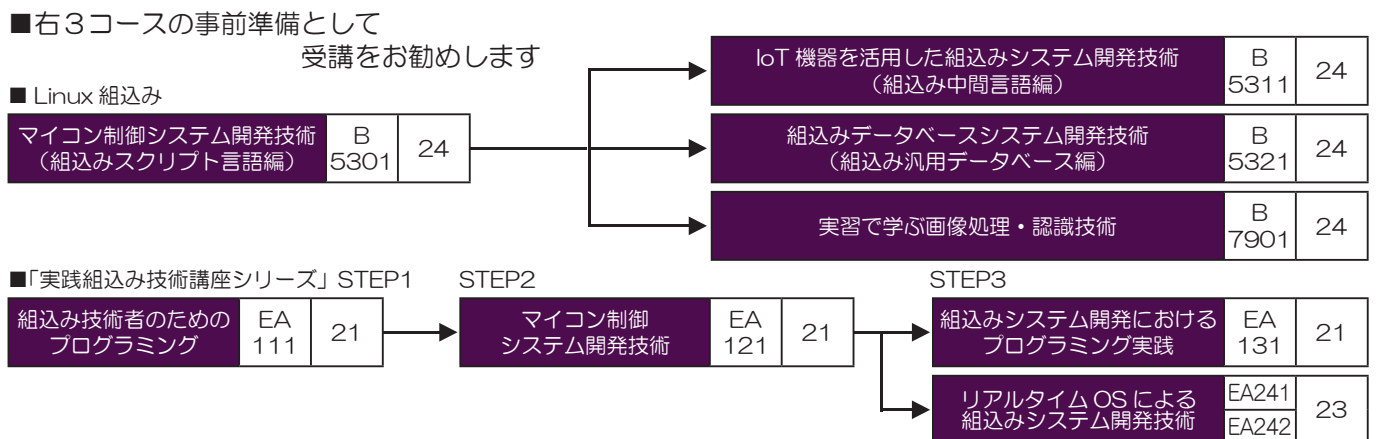
機械系



電気・制御系



電子・情報通信系



能力開発セミナー推奨コース体系②

※左から訓練コース名、コース番号、頁数を記載しています。

電子・情報通信系

■センサ関連

センサ回路の設計技術 ～色々なセンサの使い方を 体験しよう！～	B2071	24	→	ZigBeeによるワイヤレス・ センサ・ネットワークの構築	EA	23	IoT・センサネットワークの ための小電力無線技術 BLE 編	EA	22
	B2072				361			191	
	B2073								
				センサを活用した IoTアプリケーション開発技術 (BLEセンサをつなぐ)	EA	22	製造現場における IoT センシング技術	EA	23
					EA	201		EA	251

■回路系

RLC回路の設計・評価技術 ～電子回路のスタートは このセミナーから！～	B2001	24	→	トランジスタ回路の設計・評価技術 ～回路作製実習で、ダイオード・ トランジスタの使い方を学ぼう！～	B2011	24	FET回路の設計・評価技術 ～回路作製実習で、FETの 使い方を学ぼう！～	B2021	24
	B2002				B2012			B2022	
	B2003				B2013			B2023	
	B2004				B2014				
				オペアンプ回路の 設計・評価技術	EA141	21	デジタル回路設計技術 ～基本的なデジタルICの 使い方をマスターしよう！～	B2081	24
					EA142		B2082		
						B2083			

■単独で設定しているコース

表計算ソフトを活用したデータ通信 プログラミング<ExcelVBA編>	EA221	22	Web-DBシステムを利用した 生産支援システムの構築<PHP編>	EX251	23	製造業におけるデータベース活用技術 <VisualStudio (C#) 編>	EX241	23
	EA222			EX252			EX242	
AI活用による画像認識システムの開発 <Python編>	EA231	22	製造現場におけるLAN活用技術	EA	22			
	EA232			211				

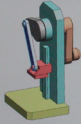
建築系

実践建築設計2次元CAD技術 ～業界問わずAutoCADを 使ってみてみたい方に最適～	KA101	25	→	在来木造住宅設計 実践技術 <使用ソフト：Jw_cad>	KA	25	BIMを用いた建築設計技術 ～これからBIMを使ってみてみたい方に～ <使用ソフト：Archicad>	KA141	26	
	KA102				121			KA142		
実践建築設計2次元CAD技術 ～業界問わずJw_cadを 使ってみてみたい方に最適～	KA111	25	→	実践建築設計3次元CAD技術 <使用ソフト：3Dマイホームデザイナー>	KA	26	BIMを用いた建築設計技術 <使用ソフト：GLOOBE Architect>	KA		27
	KA112				131			KA171		
室内温熱環境設計技術	KA241	29	→	木造住宅における 結露防止を考慮した 断熱・気密設計法	KA251	30	BIMを用いた建築生産設計技術 <使用ソフト：GLOOBE Construction>	KC	27	
					省エネルギー住宅及び 低炭素建築物の計画実践技術	KA231	29	BIMを用いた建築設計技術 (モデリング編) ～これからBIMを使ってみてみたい方に～ <使用ソフト：Revit>		KA151
						KA232		KA152		
						KA233		KA161	27	

■単独で設定しているコース

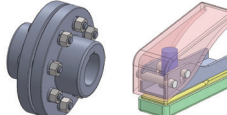
サステナブル住宅の 企画設計	KA	28	地理情報システムの 運用技術	KA	30	建築設計のための コンピュータショナルデザイン	KA	27
	211			261			191	
木造住宅における 壁量計算技術	KA	29	技能継承と生産性向上の ためのOJT指導者育成 <建設業編>	PZ	30	建築生産における 3Dスキャナ活用技術	KA	28
	221			192			201	
						ARを活用した建築 プレゼンテーション技法	KA	28
							271	

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

コース番号	MA121	MA122	訓練内容
日程	8/17(月) 8/18(火) 8/19(水) 8/20(木)	12/1(月) 12/2(火) 12/3(水) 12/4(木)	設計業務とこれによる製品の付加価値化をめざして、「製品(部品)機能=フィーチャー」と捉えた3次元CADの活用方法と、組立検討法および図面作成法を習得します。 1. 設計とは 2. モデリング3箇条 3. 設計変更を考慮したモデリング 4. アセンブリ 5. 図面作成
訓練時間	24 時間		
定員	12 名		
受講料	21,500 円		
受講対象	製品設計・開発・生産技術業務に従事する技能・技術者		
使用機器	3次元CAD (SolidWorks)		
持参品	筆記用具		
受講者の声	今、困っていることが相談できた。少人数で受講できたので、講義がスムーズだった。		

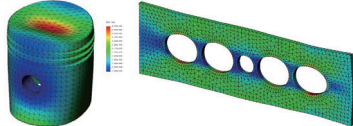
設計に活かす3次元CADアセンブリ技術 <使用CAD: SolidWorks>

New

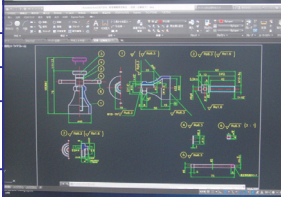
コース番号	MA131	訓練内容	
日程	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)	3次元CADを活用して設計・開発業務を行う場合は、設計する内容やフローによってアセンブリ作業の手法が大きく変わります。 本コースでは、3次元CADによる各種アセンブリの方法やそれぞれのメリット・デメリットを理解し、設計プロセスを迅速に進めるためのアセンブリ作業のポイントや技術を習得します。 1. ボトムアップ設計 2. トップダウン設計 3. レイアウトスケッチを活用したトップダウン設計 4. アセンブリ作業の定石	
訓練時間	18 時間		
定員	12 名		
受講料	17,500 円		
受講対象	機械設計や製品設計業務に従事している方、SolidWorksによる簡単なモデリングができる方		
使用機器	3次元CAD (SolidWorks)		
持参品	筆記用具		

設計者CAEを活用した構造解析 <使用CAD: SolidWorksSimulation>

New

コース番号	MA141	訓練内容	
日程	8/19(水) 8/20(木) 8/21(金)	設計者向けのCAEは便利なツールですが、万能ではないため正しい活用方法を知ることが大切です。 本コースでは、構造解析(強度剛性解析)の理論及び解析結果の評価方法を理解し、設計業務の中でCAEを「設計ツール」として有効に活用するためのノウハウや技術を習得します。 1. CAEを活用した設計のプロセス 2. 解析方法と結果の評価方法 3. 力学計算との比較 4. 応力集中部の解析 5. アセンブリの解析 6. 報告書の作成	
訓練時間	18 時間		
定員	12 名		
受講料	11,500 円		
受講対象	製品や機械、生産設備の設計・開発業務に従事している方、SolidWorksによる簡単なモデリングができる方		
使用機器	3次元CAD/CAEシステム (SolidWorks, SolidWorksSimulation)		
持参品	筆記用具、関数電卓		

2次元CADによる機械製図技術

コース番号	MA151	MA152	訓練内容
日程	5/25(月) 5/26(火) 5/27(水)	10/5(月) 10/6(火) 10/7(水)	機械設計における2次元CADの効果的な活用と、これによる生産性の向上をめざして、使用環境の構築、及び効率的な操作法について習得します。 1. 2次元CADの概要とデータ管理について 2. 設計・製図作業効率化のためのポイント (1) 画層とテンプレートの管理 (2) 2次元CADの操作法(作図機能、編集機能、応用作図機能) (3) 2次元CADの効果的活用法(ブロック機能、レイアウト他) 3. 課題実習
訓練時間	21 時間		
定員	15 名		
受講料	16,500 円		
受講対象	機械設計作業に従事する方、または、2次元CADについて学びたい方		
使用機器	2次元CAD (AutoCAD)		
持参品	筆記用具		
受講者の声	応用まで学べ大変分かりやすく理解できた。 2次元CADの操作が今まで以上に活用できる。		
備考	本コースの講習時間は、9:00~16:45です。		

実践機械製図 ～JISに基づく機械製図を習得します～

コース番号	MA171	訓練内容
日程	5/18(月) 5/19(火) 5/20(水)	機械製図の現場力強化を目指して、機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得します。 製造現場で求められる JIS 規格に対応した機械製図に関する総合的な知識、技能を手書きで製図することにより理解します。
訓練時間	18 時間	1. 図形の表し方 2. 寸法記入法 3. サイズ公差・幾何公差及びはめあいの方式について 4. 表面性状について 5. 総合課題
定員	10 名	
受講料	15,000 円	
受講対象	機械設計関連の業務に従事する方	
使用機器	製図道具	
持参品	筆記用具	
受講者の声	分からない記号があったが、今回の講習で理解できた。 寸法記入の注意点、幾何公差の内容など、細かいルールについて理解することができた。 今まで自己流の描き方だったので基本的なことを学べて良かった。	



幾何公差の解釈と活用演習 ～エンジニア必見！今、注目の幾何公差の読書きを学ぼう～

New

コース番号	MA251	訓練内容
日程	9/30(水) 10/1(木)	2016年のJIS改正により、「寸法公差」が「サイズ公差」に名称変更になりました。これにより、誤った寸法公差の使い方を是正し、寸法公差に依存した曖昧さが含まれた図面から幾何公差を重視した厳密な図面への移行が促進されています。
訓練時間	12 時間	本コースでは、機械製図で必要な幾何公差の知識や製図方法を、演習を交えながら習得します。 1. サイズ公差(旧寸法公差)と幾何公差の使い分け 2. データムの解釈と図示方法 3. 幾何公差の解釈と図示方法 4. 課題演習
定員	12 名	
受講料	10,000 円	
受講対象	製品や機械、生産設備の設計・開発業務に従事している方、またはその候補者	
持参品	筆記用具、電卓(√計算ができるもの)	

手戻りを減らす構想設計技術 ～若手エンジニア必見！実習しながら学んでみよう～

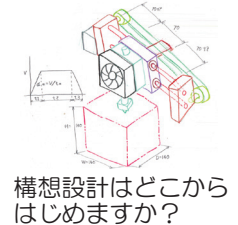
コース番号	MA191	訓練内容
日程	8/3(月) 8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)	設計プロセスを経験した方を対象に設計、組立調整、計測評価、改良設計のPDCAを体験し自身の設計品質向上の糸口を探すコースです。グループでの設計実習が中心です。組立、測定評価演習を含むことが設計プロセス実践との違いになります。
訓練時間	24 時間	1. SI 単位、計算練習、ポンチ絵実習など 2. 仕様の確認とポンチ絵 (1) 設計仕様の数値化 (2) 検討事項の優先順位 3. 組立検証 設計検討のスパイラルアップ 4. 計測評価、改良設計、改良後の確認 ※本コース受講後、「設計プロセス実践」の受講をお勧めします。
定員	12 名	
受講料	27,500 円	
講師	COLORS(株) 技術顧問/Koba Mechanical Design 小林 俊幸(予定)	
受講対象	自身の設計品質向上を目指す方。設計チームの構成員として自立し、将来の設計チームのサブリーダーを目指す方。	
持参品	筆記用具、関数電卓	
受講者の声	知らない知識設計手順の勉強になった。 計算式が身に付いた。受講して学んだ事が自分の職場に戻った際に役に立ちそうです。受講して本当によかったです。 今までの仕事であいまいになっていた部分を明確にできた。	



たわみ測定装置の考案

設計プロセス実践 ～若手エンジニア必見！構想設計から部品選定の流れを理解しよう～

コース番号	MA201	訓練内容
日程	2027 3/23(火) 3/24(水) 3/25(木)	新規機械設計における仕様→構想設計の設計プロセスを行う業務の技能伝承をめざして、CADで設計検討を始める前に行うべきである仕様の整理・数値化から部品の選定、構造の検討を行う過程を実習を通して習得します。
訓練時間	18時間	1. 構想設計の進め方 2. 仕様の確認とポンチ絵 3. 直動機構の設計 (1) 案内部の設計計算と部品の選定 (2) 駆動部の設計計算と部品の選定 4. 設計情報の整理 ※本コース受講前「手戻りを減らす構想設計技術」の受講をお勧めします。
定員	12名	
受講料	23,500円	
講師	COLORS(株) 技術顧問 / Koba Mechanical Design 小林 俊幸(予定)	
受講対象	構想設計に携わろうとする方と新規製品の設計プロセスを経験したい方。	
持参品	筆記用具、関数電卓、 JISにもとづく機械設計製図便覧 (ISBN: 978-4-274-22787-5) 古いものでも可	



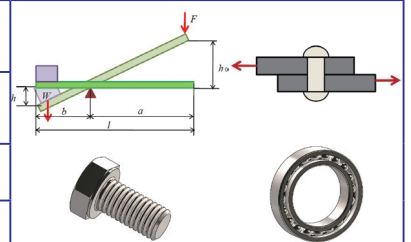
治具設計の勘どころ

コース番号	MA211	訓練内容
日程	2027 1/14(木) 1/15(金)	治具設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた設計時の問題点(①ワークの位置決め箇所、②クランプ位置、③クランプ力④治具の扱い及び作業性、⑤材料・精度・コストなど)の回避方法などを含め、組付け治具における設計手法とポイントを習得する。
訓練時間	12時間	1. コース概要 2. 治具概要 ①治具の目的 ②治具の基本要素 ③治具による位置決め ④治具におけるクランプの原則と条件 3. 治具設計のポイント ①製品精度と治具精度 ②位置決め精度と公差 ③勘合時の治具設計要件 4. 治具構想実習
定員	10名	
受講料	20,000円	
講師	(株) palette 舟橋 隆光(予定)	
受講対象	機械の設計・開発及び、自動化システムに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	作業着(上着のみで可)、筆記用具、関数電卓	

機械設計のための総合力学

New

コース番号	MA221	訓練内容
日程	8/26(水) 8/27(木)	機械の力学や材料力学、また機械要素設計(ねじ・軸・軸受・歯車)など、詳細設計に必要な力学全般を習得することにより、設計力向上を目指します。さらに単に計算式を扱うのではなく、その意味を理解することにより、問題解決力を養います。
訓練時間	14時間	1. 強度設計の重要性 2. 機械の力学 3. 材料の静的強度設計 4. 機械要素設計 ※材料力学について特に深く学習したい方は、ポリテクセンター関西が開催するセミナー「構造強度設計のための材料力学」をご受講ください。
定員	12名	
受講料	16,000円	
講師	諸頭眞和(博士(工学)、厚生労働省委託ものづくりマイスター)(予定)	
受講対象	製品や機械、生産設備の設計・開発業務に従事している方、またはその候補者。力学の復習をしたい方	
持参品	筆記用具、関数電卓	
備考	講習時間は、9:10～17:00です。	



機械設計技術者のための力学（熱力学・流体力学編）

New

機
械
系

コース番号	MA231	訓練内容
日程	10/6(火) 10/7(水)	機器の熱対策や適正な流路設計による省エネ化など、熱流体工学に基づく製品開発・設計を行うことができるように、熱力学・流体力学の基礎知識を習得します。 1. 熱工学の基礎 2. 熱を考慮した部品の設計 3. 流体工学の基礎 4. 機械設計課題
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	14,500 円	
講師	諸頭眞和（博士（工学）、厚生労働省委託ものづくりマイスター）（予定）	
受講対象	製品や機械、生産設備の設計・開発業務に従事している方、またはその候補者。力学の復習をしたい方	
持参品	筆記用具、関数電卓	

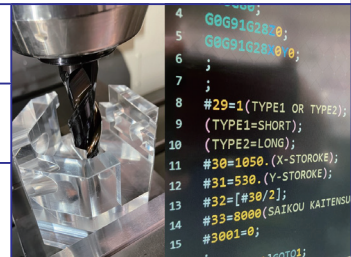
機械設計技術のための実践流体力学

New


コース番号	MA241	訓練内容
日程	11/25(水) 11/26(木)	流体機械や配管、バルブ、ノズルなどの設計、評価、試験に必要なとなる流体力学の活用技術を演習を交えながら習得します。それにより、ベルヌーイの定理の応用や管路の圧力損失計算、噴流による力の計算、バルブの容量係数や Cv 値が理解できるようになることを目指します。 1. 流体の流れと性質 2. 流体の静力学 3. 流れの力学 4. 管内の流れ 5. バルブ特性
訓練時間	14 時間	
定員	12 名	
受講料	19,500 円	
講師	諸頭眞和（博士（工学）、厚生労働省委託ものづくりマイスター）（予定）	
受講対象	製品や機械の設計・開発業務に従事している方、またはその候補者	
持参品	筆記用具、関数電卓	
備考	講習時間は、9:10～17:00です。	

マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	MB111	訓練内容
日程	6/16(火) 6/17(水) 6/18(木)	NC 工作機械で使用する NC プログラムを学びます。GコードやMコードなどの NC 言語やメインプログラム、サブプログラムの NC プログラムの構成などを中心にマシニングセンタで用いる NC プログラムを作成できる技能・技術を習得します。 1. マシニングセンタ概要 2. NC プログラミング 3. 切削条件の選定 4. プログラミング実習 ※加工・段取りを含めて習得したい方は「MB121 マシニングセンタ加工技術」と一緒に受講することをお勧めします。
訓練時間	18 時間	
定員	10 名	
受講料	11,500 円	
受講対象	マシニングセンタのプログラムについて習得したい方	
持参品	筆記用具、電卓	
受講者の声	Gコードで最初からプログラミングを行うことがなかったので、今回参加してよかった。プログラムの構成が理解でき自分の知識も増え作業の幅も広がり、うれしく思う。	



マシニングセンタ加工技術 ~段取り作業及び加工作業について基本から習得したい方に最適です~

コース番号	MB121	訓練内容
日程	7/14(火) 7/15(水) 7/16(木)	ツールセットの方法や各種補正值の設定方法等の段取り作業を習得します。また、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識と、加工精度に影響する諸要因や各種加工のためのポイント等に役立つ技能・技術を習得します。
訓練時間	18 時間	1. ツール及びツーリングの種類と特徴 2. 治具・取付具の役割 3. ツールセットや各種補正值の設定方法 4. 加工実習 5. 各種補正值の修正 6. 加工後の評価・改善策の検討
定員	10 名	
受講料	17,000 円	
受講対象	製造部門・生産技術部門（機械加工系）をこれから担当する方、または「MB111 マシニングセンタプロミング技術」を受講された方	
使用機器	マシニングセンタ (FANUC ROBODRILL α-D14MiA)	
持参品	筆記用具、作業服、電卓	
受講者の声	機械や工具の知識を身につけることができた。 段取り作業の流れを知ることができ、知識が整理できた。	


〈旋盤セットコース〉 旋盤加工技術（外径加工編） & 旋盤加工技術（内径加工編）

ReNew

コース番号	MB131 MB141	訓練内容
日程	MB131: 8/4(火) 8/5(水) MB141: 8/6(木) 8/7(金)	1人1台で普通旋盤を使用します。加工実習に重きを置いたコースです。汎用旋盤作業における各種加工及び工程に関する知識と技能を習得します。
訓練時間	合計 24 時間 (1日6時間)	「前半コース（外径加工編）」 普通旋盤の安全作業、加工条件の選定と関連知識について実習を通して習得します。 1. 概要（訓練目的及びコース概要、安全作業など） 2. 旋盤加工概要（切削の3条件、機械工具等について） 3. 切削実習（外径加工） 4. 各種公差の精度評価
定員	10 名	「後半コース（内径加工編）」 前半で加工した製品に対して組合せ部品を製作します。 1. 概要（訓練目的及びコース概要、安全作業など） 2. 旋盤加工概要（内径加工時のポイントなど） 3. 切削実習（内径加工） 4. 各種公差の精度評価
受講料	21,000円 (各10,500円)	
受講対象	生産技術部門（機械加工関係）に従事する若手技術者	
使用機器	汎用旋盤（WASINO LE080A）、各種切削工具、測定器	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ	
備考	※前半コース（外径編）との組合せ部品を加工する関係上、後半コース（内径編）のみの受講はできませんのでご注意ください。	



機械組立仕上げのテクニック

コース番号	MB151	訓練内容
日程	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)	技能高度化に向けた機械装置の仕上げ・組立・調整実習を通して、高精度で高効率な機械組立仕上げのテクニックを習得し、後進に作業をさせる際の指導法に必要な技能・技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 課題図の検討 3. 工具・測定具の調整 4. やすり仕上げ 5. 組み立て調整
訓練時間	18 時間	
定員	10 名	
受講料	21,000 円	
受講対象	機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	やすり各種、きさげ、測定器、定盤	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ	

〈フライス盤セットコース〉

フライス盤加工技術（六面体加工編） & フライス盤加工技術（段・溝加工編）



コース番号	MB161 MB171	訓練内容
日程	MB161: 8/18(火) 8/19(水) MB171: 8/20(木) 8/21(金)	1人1台でフライス盤を使用します。加工実習に重きを置いたコースです。フライス作業における効率化・高精度加工化を目指して、条件設定や加工法の検討・段取りの方法を、各種加工技術による実践的な課題加工実習を通して習得します。 「前半コース（六面体加工編）」 フライス盤の安全作業、加工条件の選定と関連知識について実習を通して習得します。 1. 概要（訓練目的及びコース概要、安全作業など） 2. フライス加工概要（切削の3条件、機械工具等について） 3. 切削実習（正面フライス） 4. 各種公差の精度評価 「後半コース（段・溝加工編）」 前半で加工した製品に対して組合せ部品を製作します。 1. 概要（訓練目的及びコース概要、安全作業など） 2. フライス加工概要（エンドミル使用時のポイントなど） 3. 切削実習（エンドミル加工） 4. 各種公差の精度評価
訓練時間	合計 24 時間 (1日6時間)	
定員	6名	
受講料	32,000円 (各16,000円)	
受講対象	生産技術部門（機械加工関係）に従事する若手技術者	
使用機器	フライス盤（Etsuki 2MF）、各種切削工具、測定器具	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ、関数電卓（四則電卓でも可）	
備考	※前半コース（六面体加工編）との組合せ部品を加工する関係上、後半コース（段・溝加工編）のみの受講はできませんのでご注意ください。	

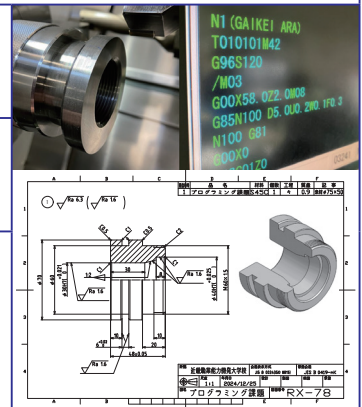
〈NC 旋盤セットコース〉 NC 旋盤プログラミング技術 & NC 旋盤加工技術



機
械
系

機
械
系

コース番号	MB181 MB191	訓練内容
日程	MB181: 10/6(火) 10/7(水) MB191: 10/8(木) 10/9(金)	「前半コース (NC 旋盤プログラミング技術)」 NC 工作機械で使用する NC プログラムを学びます。G コードや M コードなどの NC 言語や加工のための NC プログラムの構成などを中心に NC 旋盤で用いる NC プログラムを作成できる技能・技術を習得します。 1. NC 旋盤概要 2. NC プログラミング 3. 加工工程の検討 4. 切削条件の選定 5. プログラミング実習
訓練時間	合計 24 時間 (1 日 6 時間)	
定員	10 名	「後半コース (加工技術編)」 加工課題実習を通じて、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識、各種加工のための段取り作業のポイント等に役立つ技能・技術を習得します。
受講料	20,000円 (MB181 : 8,000円 MB191 : 12,000円)	1. ツール及びツーリングの種類と特徴 2. プログラミング時間の短縮 3. ツールセットや各種補正值の設定方法 4. 加工課題実習
受講対象	NC 旋盤のプログラムについて習得したい方や、NC 旋盤での段取り・加工を習得したい方	
使用機器	NC 旋盤 (OKUMA LB3000EX II)	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ	
備考	<p>※前半コース (プログラミング技術) で作成したプログラムで加工する関係上、後半コース (加工技術編) のみの受講はできませんのでご注意ください。前半コースのみご希望の方はご相談ください。</p> <p>※プログラムの講義はファナックのコードを元に進めていきます。</p>	



工具研削実践技術 ～名工が指導するドリル研削の極意～

コース番号	MB201	訓練内容
日程	11/24(火) 11/25(水) 11/26(木)	切削工具研削の現場力強化をめざして、ドリル研削を例として工具再研削および加工評価実習を通して、研削盤や砥石の選択、再研削の方法と再研削工具の性能評価するための技能・技術を習得します。
訓練時間	18 時間	1. 工具活用技術 2. 研削技術実習
定員	10 名	3. 工具研削と加工評価実習
受講料	28,000 円	
講師	坂井 利文 (ものづくりマイスター / おうみの名工) (予定)	
受講対象	機械加工業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	両頭研削盤、ボール盤、ドリル	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ	
受講者の声	<p>本だけでは、良くわからなかった事柄が実際に、見本を見せてもらい教えてもらえたので理解できました。今まで感覚で研いでいたのが、理論的に分かり、今後どのような練習を続けていけば良いかが分かった。また、職場で研げる人がかなり年配の方しかいなく、技術を身に付けるのが急務だったので役立った。アクリルの研ぎ方には感動しました。</p> <p>ドリル研削は動画でしか見たことがなく、わからない部分が今回のセミナーで知る事が出来た。</p>	



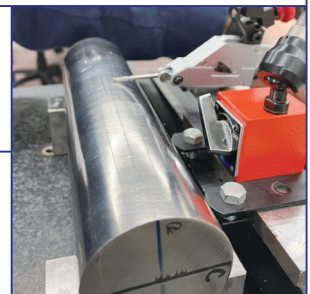
精密測定技術 ～信頼度を高める正確な測定技術を学びます～

コース番号	MD111	MD112	MD113	MD114	訓練内容
日程	4/14(火) 4/15(水)	6/9(火) 6/10(水)	10/14(水) 10/15(木)	11/10(火) 11/11(水)	信頼性の高いものづくりには、高度な加工技術だけでなく、それを評価し保証するための正しい知識と正確な測定技術が不可欠です。「モノをいかに正確に測るか」は、優れた品質の原点です。実習を通して、測定知識と測定方法、注意すべき点等について、習得します。 1. 測定の概要と重要性 2. 正しい取り扱いと測定方法 3. 測定実習 4. 定期検査・校正方法
訓練時間	12 時間				
定員	10 名				
受講料	12,000 円				
受講対象	製造部門・生産技術部門（機械加工系）や測定・検査作業に従事する若手技術者				
使用機器	ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ等				
持参品	筆記用具				
受講者の声	計測機器にそれぞれ意味があって、取り扱いルールが決められていることを改めて認識させられた。				



幾何公差の解釈と測定技術 ～幾何公差の基礎知識から使用頻度が高い幾何公差の測定方法を学びます～

コース番号	MD131	訓練内容
日程	10/6(火) 10/7(水)	測定作業の生産性の向上をめざし、最適化（改善）に向けた測定実習を通して、設計図面に記載される幾何公差の測定を実現する手法と機械加工との関わりを明らかにし、幾何公差の解釈と測定技術に必要な技能・技術を習得します。 1. 幾何公差の図示と解釈 2. 加工・測定と幾何公差との関わり 3. 主要な幾何公差の測定技術とその実習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	13,000 円	
受講対象	製品に関する開発・設計・生産技術・測定・検査等業務に従事する技能・技術者等	
持参品	筆記用具、関数電卓	



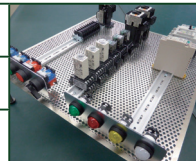
解析ツールを活用した機械の疲労寿命設計法 ～3次元 CAD 設計をさらに進化させましょう！～

コース番号	C0861	C0862	訓練内容
日程	6/18(木) 6/19(金)	8/3(月) 8/4(火)	機械構造設計の最適化や疲労寿命設計による製品の高付価値をめざして、疲労強度の考慮が必要な機械製品及び構造物の設計で与えられた設計仕様（環境、負荷応力、形状寸法、表面状況等）から、疲労寿命に及ぼす種々の因子を考慮した実部材の疲労設計が遂行できる能力を習得します。 1. 疲労寿命設計の概要 2. 疲労試験データから疲労寿命を推定する方法 3. 変動荷重を受ける場合の疲労寿命測定法 4. CAE による疲労寿命予測実習
訓練時間	14 時間		
定員	14 名		
受講料	20,500 円		
受講対象	機械製品及び構造物等の設計開発業務に従事する技能・技術者		
使用機器	3次元 CAD / CAE システム（SolidWorks、SolidWorksSimulation）		
持参品	筆記用具、関数電卓		
備考	本コースの開催場所及び申込は、ポリテクセンター関西（大阪府摂津市三島 1-2-1）です。講習時間は、9：15～17：00 です。		

有接点シーケンス制御の実践技術

電気・制御系

コース番号	SA111	訓練内容
日程	8/3(月) 8/4(火)	有接点シーケンス制御は、配電盤や制御盤にかかわる業務を行う上で欠くことのできない必須技術です。本コースでは、有接点シーケンス制御で用いられる制御機器の種類や使用方法を習得するとともに、実習を通して各種シーケンス制御回路を理解し、回路の設計・配線技術を習得します。 1. シーケンス制御の概要 2. 制御機器の種類と選定方法 3. 各種シーケンス制御回路 4. ランプのタイマー制御 5. トラブル対策
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	15,000 円	
受講対象	有接点シーケンス制御に関する技術を習得したい方	
使用機器	実習用制御盤（スイッチ、ランプ、リレー、タイマ等）、テスター	
持参品	筆記用具	



電気・制御系

PLC 制御の回路技術 ~三菱FXシリーズ~

New

電気・制御系

コース番号	SA141	訓練内容
日程	8/26(水) 8/27(木) 8/28(金)	PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）を用いたF Aモデルの演習を通して、プログラム作成技術、実践課題実習、回路設計技術の実務能力を習得します。 1. PLCの機能と設計 2. 回路設計 3. 総合実習
訓練時間	18 時間	
定員	6 名	
受講料	19,500 円	
受講対象	PLCを使用した制御に関する業務を担当される方	
使用機器	三菱製PLC（FXシリーズ FX-5U）、サポートソフト（GX Works3）、各種負荷装置	
持参品	筆記用具	



ロボットシミュレーション活用技術

電気・制御系

コース番号	SA151	訓練内容
日程	5/23(土) 5/30(土)	パソコン用ロボットシミュレーションソフトを活用し、ロボットのプログラミングと教示作業を行う方法を習得します。 1. ロボットプログラム作成（RT ToolBox3） 2. ロボットシミュレーション（RT ToolBox3） 3. ロボットの教示（RF-2F-D） 4. ロボットの動作確認と修正
訓練時間	12 時間	
定員	7 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	産業用ロボットの教示、ロボット言語（MELFA-BASIC）によるプログラミングを習得したい方	
使用機器	多関節ロボット（三菱 RV-2F-D）、ロボットシミュレーションソフト（RT ToolBox3）	
持参品	筆記用具	



産業用ロボット活用技術

New

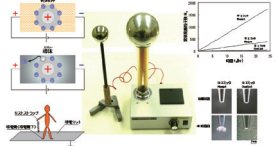
電気・制御系

コース番号	SA161	訓練内容
日程	2027 1/26(火) 1/27(水)	メカトロニクス設計（ロボット含む）の生産性の向上をめざして、PLCを用いたロボット制御プログラム実習を行います。ロボットプログラム実習を通して、産業用多関節ロボットを中心としたロボット制御技術を習得します。 1. ロボット概論 2. 安全 3. ロボットの教示実習 4. ロボットプログラム実習 5. PLCプログラム実習
訓練時間	12 時間	
定員	6 名	
受講料	16,000 円	
受講対象	産業用ロボットを用いた自動化システムの設計等に 従事する予定の方	
使用機器	多関節ロボット（三菱 RV-2F-D）、三菱製PLC（Rシリーズ）、サポートソフト（GX Works3）	
持参品	筆記用具	




静電対策と測定技術

電気・制御系

コース番号	SD181	訓練内容	
日程	2027 1/21(木) 1/22(金)	電気・電子測定／電気・電子部品検査の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた静電気測定実習を通して、静電気を測定する方法やその発生の防止および対策法を実践的に習得します。 1. 静電気の概要 2. 静電気の発生 3. 静電気の理論 4. 静電気対策 5. 静電気の測定 6. 静電気防止管理	
訓練時間	12時間		
定員	10名		
受講料	8,000円		
受講対象	電子機器の製造等に従事する技能・技術者等および品質等管理者		
使用機器	静電気発生器（ヴァンデグラフ）、静電電圧計、箔検電器		
持参品	筆記用具		


実践的 PLC 制御技術 ～三菱 FX シリーズ～

電気・制御系

コース番号	SX121	訓練内容	
日程	5/9(土) 5/10(日)	PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）制御における回路作成技術及びプログラム保守に係る実務能力を実践的な総合課題を通して習得します。 1. PLC 制御の構成 2. PLC のプログラミング 3. 制御回路製作実習	
訓練時間	12時間		
定員	6名		
受講料	13,500円		
受講対象	生産設備の設計、または保守・保全業務に従事する方		
使用機器	サポートソフト（Gx Works2）、パソコン、三菱 PLC（FX シリーズ FX-2N）、制御対象装置、スイッチ、表示灯、工具		
持参品	筆記用具		


実践的 PLC 制御技術 ～三菱 FX シリーズ～

電気・制御系

コース番号	SX131	訓練内容	
日程	8/24(月) 8/25(火)	PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）制御における回路作成技術及びプログラム保守に係る実務能力を実践的な総合課題を通して習得します。 1. PLC 制御の構成 2. PLC のプログラミング 3. 制御回路製作実習 4. 総合実習	
訓練時間	12時間		
定員	6名		
受講料	13,500円		
受講対象	PLC を使用した制御に関する業務を担当される方		
使用機器	三菱製 PLC（FX シリーズ FX-5U）、サポートソフト（GX Works3）、各種負荷装置		
持参品	筆記用具		
受講者の声	プログラミングの作成ができるようになった。 会社で起きている課題にとっても役に立つことを学べた。		

高圧電気設備の保守点検技術

電気・制御系

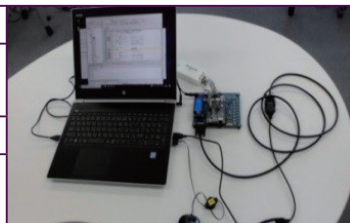
コース番号	SX171	訓練内容	
日程	2027 3/15(月) 3/16(火)	高圧受電設備を使用した保守点検方法の実習を通して、高圧電気設備の工事・維持及び運用実務を効率良く安全に行える技能・技術を習得します。 1. 自家用電気工作物の概要 2. 高圧電気設備の点検実習（停電） 3. 保守点検（各種継電器試験） 4. 高圧電気設備の点検実習（充電）	
訓練時間	12時間		
定員	10名		
受講料	10,000円		
受講対象	電気技術者でこれから高圧受電設備に関わる方、高圧受電設備に関わる経験の浅い方		
使用機器	模擬高圧受電設備、検電器、保護継電器試験機、絶縁耐力試験用変圧器、位相特性試験機、放射温度計		
持参品	筆記用具		

「実践組み込み技術講座シリーズ」は、研修効果をあげるため3コースの連続受講をおすすめします。

組み込み技術者のためのプログラミング ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP1～

電子・情報通信系

コース番号	EA111	訓練内容
日程	7/27(月) 7/28(火)	実践的な組み込みシステム用マイコンの仕組みを理解し、開発に必要となるC言語プログラムの作成が行える技能・技術を導入します。
訓練時間	12時間	
定員	10名	
受講料	13,000円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッグ	
持参品	筆記用具	
受講者の声	具体例も交えて聞けたので、改めて理解し整理することができた。実習を通じて、組み込みシステムを学べた。	



マイコン制御システム開発技術 ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP2～

電子・情報通信系

コース番号	EA121	訓練内容
日程	7/29(水) 7/30(木) 7/31(金)	実践的な組み込みシステム開発において必要となるC言語を用いて、マイコン内蔵機能モジュールの取扱いや割り込み処理をプログラムし、組み込み技術の全体像を習得します。
訓練時間	18時間	
定員	10名	
受講料	12,000円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッグ	
持参品	筆記用具	

組み込みシステム開発におけるプログラミング実践 ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP3～

電子・情報通信系

コース番号	EA131	訓練内容
日程	8/3(月) 8/4(火)	実践的な組み込みシステムの開発において必要となるC言語による周辺装置制御方法、組み込みデバッグ技法等に関する技能・技術を習得します。
訓練時間	14時間	
定員	10名	
受講料	9,500円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッグ	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの講習時間は、9:50～17:35です。	


オペアンプ回路の設計・評価技術

電子・情報通信系

コース番号	EA141	EA142	訓練内容
日程	8/20(木) 8/21(金)	10/26(月) 10/27(火)	シミュレーションや計測結果による検証を通して、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得します。
訓練時間	12時間		
定員	10名		
受講料	12,500円		
受講対象	電子回路の基本的な知識を有する方		
使用機器	パソコン、回路シミュレータ、直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ		
持参品	筆記用具		

電子・情報通信系

IoT・センサネットワークのための小電力無線技術 BLE 編

電子・情報通信系	コース番号	EA191	訓練内容	
	日程	8/20(木) 8/21(金)	センサネットワーク技術を利用した IT アプリでは重要な役割をはたす Bluetooth Low Energy (BLE) 技術を習得します。	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	20,000 円		
	受講対象	センサを活用した計測・制御システムの設計に従事する方		
	使用機器	BLE 対応マイコンボード、開発ツール、ブレッドボード、各種センサ		
	持参品	筆記用具		
受講者の声	色んな無線規格の知識が身についた。			

センサを活用した IoT アプリケーション開発技術 (BLE センサをつなぐ) New

電子・情報通信系	コース番号	EA201	訓練内容
	日程	9/3(木) 9/4(金)	Bluetooth Low Energy (BLE) で構築したセンサネットワークを IoT アプリケーションとして構築する技術を習得します。
	訓練時間	12 時間	
	定員	10 名	
	受講料	16,000 円	
	受講対象	センサネットワーク技術を活用した IoT アプリケーション構築に従事する方	
	使用機器	BLE 対応マイコンボード、各種センサ、Web サーバ、データベース、プログラム開発ツール	
	持参品	筆記用具	

製造現場における LAN 活用技術 New

電子・情報通信系	コース番号	EA211	訓練内容
	日程	2027 3/15(月) 3/16(火)	Linux カーネル機能である Network Namespace を用いて各自の仮想環境において LAN を構築し、ネットワーク通信の実験を行います。この環境を用いて、LAN の概要と主なプロトコル、ネットワーク構築事例の動作確認が可能となります。障害発生時の状態を再現し、そのときの現象と対策も学習します。
	訓練時間	12 時間	
	定員	10 名	
	受講料	13,000 円	
	受講対象	TCP/IP ベースのネットワーク及び LAN の基礎を学びたい方	
	使用機器	パソコン、VMware 仮想化ソフトウェア、LinuxOS	
	持参品	筆記用具	

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング < Excel VBA 編 > New ～表計算ソフトによるシリアル通信アプリケーション開発を、実習を通じて総合的に学びます～

電子・情報通信系	コース番号	EA221	EA222	訓練内容
	日程	10/7(水) 10/14(水)	2027 2/24(水) 2/25(木)	パソコン制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善) に向けた通信手順の設計やデータ収録システムの開発実習を通じて、表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング習得する。
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	15,000 円		
	講師	(株)ビットファクトリー 中尾 文彦 (予定)		
	受講対象	表計算ソフトによるシリアル通信システムの技術要素を習得したい方 / 体系的に学習したい方		
	使用機器	パソコン、表計算ソフト (Excel VBA)、シリアルケーブル (RS232C)		
持参品	筆記用具			

AI 活用による画像認識システムの開発 < Python 編 > New ～ AI 技術による画像認識システム開発を、実習を通じて総合的に学びます～

電子・情報通信系	コース番号	EA231	EA232	訓練内容
	日程	10/21(水) 10/28(水)	2027 3/24(水) 3/25(木)	画像処理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善) に向けた AI による画像認識システム開発実習を通して、AI による画像認識技術を習得する。
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	15,000 円		
	講師	(株)ビットファクトリー 中尾 文彦 (予定)		
	受講対象	AI 技術による画像認識システムの技術要素を習得したい方 / 体系的に学習したい方		
	使用機器	パソコン、カメラ、AI プログラム開発環境 (jupyter notebook、Google Colabo)		
持参品	筆記用具			
備考	Google Colabo を使用するため、Google アカウントをお持ちでない方は事前に作成してご準備ください。すでに Google アカウントをお持ちの方はログイン ID およびパスワードを確認しておいてください。			

リアルタイム OS による組み込みシステム開発技術

電子・情報通信系	コース番号	EA241	EA242	訓練内容
	日程	11/19(木) 11/20(金)	2027 3/15(月) 3/16(火)	リアルタイムOSの各種システムコールの実習を通して組み込みマイコンのプログラミングを理解し、リアルタイムシステムの開発・設計技術を習得します。
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	8,500 円		
	受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。		
	使用機器	組み込み用マイコンボード、開発用パソコン、開発ツール		
	持参品	筆記用具		

製造現場における IoT センシング技術

New

電子・情報通信系	コース番号	EA251	訓練内容	
	日程	8/13(木) 8/14(金)	センシング機器の導入によるデータ取得・活用のプロセスを、microPython を用いたシステム構築技術を習得します。	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	21,500 円		
	受講対象	IoTシステムの設計・構築または計画推進等に従事する方		
	使用機器	Wi-Fi マイコン、開発用PC、各種センサ、電子部品一式、統合開発環境、外部サーバ		
	持参品	筆記用具		

ZigBee によるワイヤレス・センサ・ネットワークの構築

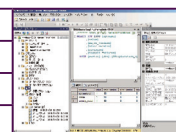
電子・情報通信系	コース番号	EA361	訓練内容	
	日程	8/6(木) 8/7(金)	通信システム設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた無線通信・制御プログラミングを通して、ワイヤレス・センサ・ネットワークの構築を習得します。	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	18,500 円		
	受講対象	センサを活用した計測・制御システムの設計に従事する方で、プログラミングの基本的な知識を有する方		
	使用機器	ZigBee RF モジュール、各種計測機器、各種センサ、パソコン、開発ツール		
	持参品	筆記用具		

製造業におけるデータベース活用技術＜ VisualStudio (C#) 編 ＞

～クライアントサーバシステムによる業務アプリケーション開発を、実習を通じて総合的に学びます～

New

電子・情報通信系	コース番号	EX241	EX242	訓練内容
	日程	8/20(木) 8/21(金) 8/22(土)	3/18(木) 3/19(金) 3/20(土)	生産計画／生産管理の生産性の向上をめざして、効率化に向けた在庫管理システム構築などの実習を通して、生産データを一元管理し有効活用するためデータベース構築技術を習得する。
	訓練時間	18 時間		
	定員	10 名		
	受講料	20,000 円		
	講師	(株)ビットファクトリー 中尾 文彦 (予定)		
	受講対象	クライアントサーバシステムの技術要素を習得したい方 / 体系的に学習したい方		
	使用機器	パソコン、プログラム開発環境、データベースソフト (VisualStudio_C#, SQLServer)		
持参品	筆記用具			

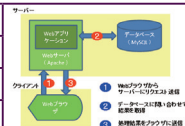


Web-DB システムを利用した生産支援システムの構築＜ PHP 編 ＞

～Web アプリケーションシステムによる業務アプリケーション開発を、実習を通して総合的に学びます～

New

電子・情報通信系	コース番号	EX251	EX252	訓練内容
	日程	8/3(月) 8/4(火) 8/5(水)	12/23(水) 12/24(木) 12/25(金)	生産活動の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産現場における様々な管理要素をデータベース化する実習を通して、Webを活用した生産管理・工程管理システムの設計・構築に関する技術を習得する。
	訓練時間	21 時間		
	定員	10 名		
	受講料	22,000 円		
	講師	(株)ビットファクトリー 中尾 文彦 (予定)		
	受講対象	Webアプリケーションシステムの技術要素を習得したい方 / 体系的に学習したい方		
	使用機器	パソコン、プログラム開発環境、データベースソフト (XAMPP, PHP, MySQL)		
持参品	筆記用具			
備考	講習時間は、9:00～16:45です。			



ポリテクセンター関西のコースのご案内

※備考：このページの開催場所及び申込は、ポリテクセンター関西（大阪府摂津市三島 1-2-1）です。
また、講習時間は、9：15～16：00です。



これ以外にも多数のコースをご用意しています。詳しくはこちらをご覧ください。→

RLC回路の設計・評価技術 ～電子回路のスタートはこのセミナーから！～					トランジスタ回路の設計・評価技術 ～回路作製実習で、ダイオード・トランジスタの使い方を学ぼう！～					FET 回路の設計・評価技術 ～回路作製実習で、FET の使い方を学ぼう！～			
コース番号	B 2001	B 2002	B 2003	B 2004	コース番号	B 2011	B 2012	B 2013	B 2014	コース番号	B 2021	B 2022	B 2023
日程	5/12 (火) 5/13 (水)	7/22 (水) 7/23 (木)	9/24 (木) 9/25 (金)	2027 1/20 (水) 1/21 (木)	日程	5/27 (水) 5/28 (木)	8/5 (水) 8/6 (木)	11/5 (木) 11/6 (金)	2027 2/3 (水) 2/4 (木)	日程	6/10 (水) 6/11 (木)	9/9 (水) 9/10 (木)	11/25 (水) 11/26 (木)
受講料	14,000 円				受講料	14,000 円				受講料	14,000 円		
訓練内容	電気理論と電磁気学、受動素子・半導体素子の特性を理解しながら、回路を製作します。また、電子計測で使う基本的な機器の取り扱いも習得します。				訓練内容	ダイオード・トランジスタなどの半導体素子の理解から、整流回路、スイッチング回路、増幅回路等の実用的な回路を製作し、アナログ回路設計・評価法を習得します。				訓練内容	FET の原理・特性を理解し、FET を使用した増幅回路・スイッチング回路など実用回路の設計・製作実習を通して、回路設計方法および評価技術について習得します。		
センサ回路の設計技術 ～色々なセンサの使い方を体験しよう！～					デジタル回路設計技術 ～基本的なデジタルICの使い方をマスターしよう！～					マイコン制御システム開発技術 (組みみスクリプト言語編) ～ RaspberryPi と Python 言語を用いた I/O 制御～			
コース番号	B 2071	B 2072	B 2073		コース番号	B 2081	B 2082	B 2083		コース番号	B5301		
日程	8/26 (水) 8/27 (木) 8/28 (金)	10/27 (火) 10/28 (水) 10/29 (木)	2027 1/5 (火) 1/6 (水) 1/7 (木)		日程	7/7(火) 7/8(水) 7/9(木)	10/14 (水) 10/15 (木) 10/16 (金)	12/2 (水) 12/3 (木) 12/4 (金)		日程	8/4(火) 8/5(水) 8/6(木)		
受講料	19,000 円				受講料	19,000 円				受講料	15,000 円		
訓練内容	実応用回路の製作実習を通して、光センサ、温度センサ、磁気センサ、電流センサ、超音波センサ、圧力センサ等について理解し、高付加価値電子装置実現に不可欠なセンサ回路設計・実装技術を習得します。				訓練内容	ブレッドボード上での汎用デジタルICを用いた回路製作実習を通して、デジタルICの特性や論理、フリップフロップ、デコーダ回路、カウンタ回路、シフトレジスタ回路などのデジタル回路設計技術を習得します。				訓練内容	RaspberryPi マイコンを使用して、LinuxOS 上で Python 言語によるマイコン制御システムの開発環境構築、I2C 通信、PWM 制御、I/O 制御などのプログラミング技術を習得します。		
IoT 機器を活用した組みみシステム開発技術 (組みみ中間言語編)					組みみデータベースシステム開発技術 (組みみ汎用データベース編) ～ RaspberryPi を用いた DB システムの構築～					実習で学ぶ画像処理・認識技術 ～ RaspberryPi と Python 言語を用いるコースです～			
コース番号	B5311				コース番号	B5321				コース番号	B7901		
日程	9/28(月) 9/29(火) 9/30(水)				日程	9/24(木) 9/25(金)				日程	9/17(木) 9/18(金)		
受講料	15,000 円				受講料	11,000 円				受講料	11,000 円		
訓練内容	IoT 機器である RaspberryPi マイコンを使用して、LinuxOS 上で Java 言語による組みみシステムの開発環境構築、GUI、ネットワーク通信、Web サーバ構築などのプログラミング技術を習得します。				訓練内容	RaspberryPi マイコンを使用して、LinuxOS 上で Python 言語によるマイコン制御システムの開発環境構築、および MariaDB によるデータベースプログラミング技術を習得します。				訓練内容	オープンソース (OpenCV) を活用した画像処理・認識プログラミング実習を通して、画像処理・認識技術について習得します。		

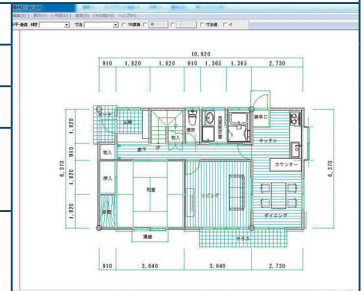
実践建築設計 2次元 CAD 技術 <使用ソフト：AutoCAD> ~業界問わず CAD を使ってみたい方に最適~

コース番号	KA101	KA102	訓練内容
日程	4/21 (火) 4/22 (水)	12/23(水) 12/24(木)	実践的な建築図面作成業務の効率化および図面データの高品質化を目指して、AutoCAD による実践的な作成方法を習得します。 1. 設計の概要 2. 各種図面の構築手法と演習 3. 確認・評価
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	10,500 円		
受講対象	AutoCAD を使用した図等関連業務に従事する方		
使用機器	AutoCAD		
持参品	筆記用具		



実践建築設計 2次元 CAD 技術 <使用ソフト：Jw_cad> ~業界問わず CAD を使ってみたい方に最適~

コース番号	KA111	KA112	訓練内容
日程	6/2(火) 6/3(水)	8/4(火) 8/5(水)	実践的な建築図面作成業務の効率化および図面データの高品質化を目指して、Jw_cad による実践的な作成方法を習得します。 1. 設計の概要 2. 各種図面の構築手法と演習 3. 確認・評価
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	11,000 円		
受講対象	Jw_cad を使用した図等関連業務に従事する方		
使用機器	フリーソフト (Jw_cad)		
持参品	筆記用具		
受講者の声	Jw_cad でこのような作業を知っておいたらよいということを知ったので、今後は仕事で活用できそうです。		
備考	本コースの開催場所は、ポリテクセンター関西 (摂津市三島 1-2-1) です。		



在来木造住宅設計実践技術 <使用ソフト：Jw_cad>

New

コース番号	KA121	訓練内容
日程	8/18 (火) 8/19 (水)	在来木造住宅の基本的な意匠図 (平面図、断面図、立面図) の作図を通じて、Jw_cad の実践的な操作技術を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 平面図の作図 3. 断面図の作図 4. 立面図の作図
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	11,500 円	
受講対象	Jw_cad を使用した図等関連業務に従事する方	
使用機器	フリーソフト (Jw_cad)	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの開催場所は、ポリテクセンター関西 (摂津市三島 1-2-1) です。	

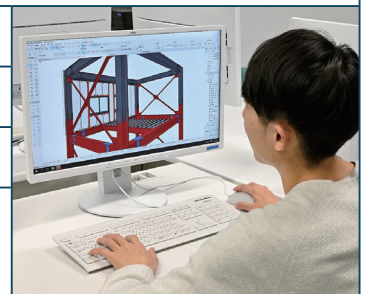
実践建築設計3次元 CAD 技術 <使用ソフト：3D マイホームデザイナー>

コース番号	KA131	訓練内容
日程	5/9(土) 5/16(土)	基本設計図作成の効率化を目指して、3D マイホームデザイナーを使って施主に対する提案を可視化する3次元のモデリング、外観・内観パースの作成方法について習得します。 1. 概要 2. パースの作成 3. 3次元モデルによる検討 4. プレゼン表現演習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	木造住宅設計業務に従事する方	
使用機器	3Dマイホームデザイナー	
持参品	筆記用具	
受講者の声	わからない使い方について理解が出来た。新しい使い方がわかった。テキストがカラーで見やすかった。具体的に教わることで操作が早くなった。	



BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：Archicad > ~これから BIM を使ってみたい方に~

コース番号	KA141	KA142	KA143	訓練内容
日程	8/5(水) 8/6(木)	12/24(木) 12/25(金)	2027 3/24(水) 3/25(木)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIM を活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIM の活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
訓練時間	12 時間			
定員	10 名			
受講料	12,000 円			
受講対象	BIM を使用した設計業務に従事する方			
使用機器	Archicad			
持参品	筆記用具			
受講者の声	BIM の概念と実際の現状について知ることができたので良かったです。BIM では何ができて何ができないのかがわかったことが一番良かったです。			



BIM を用いた建築設計技術(モデリング編) <使用ソフト：Revit > ~これから BIM を使ってみたい方に~

コース番号	KA151	KA152	訓練内容
日程	5/12(火) 5/19(火)	8/3(月) 8/4(火)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIM を活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIM の活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	12,000 円		
受講対象	BIM を使用した設計業務に従事する方		
使用機器	Revit		
持参品	筆記用具		
受講者の声	初めて Revit を触ったのにもかかわらず、テキストと指導が分かりやすかったのでサクサク操作ができた。一人で作図するとなると、もっと理解を深めないといけませんでしたが学べたので、Revit は使えます。		



BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：Revit> ～モデリングからステップアップを目指す方に～

建 築 系	コース番号	KA161	訓練内容
	日程	12/22(火) 12/23(水)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIMを活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIMの活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
	訓練時間	12時間	
	定員	10名	
	受講料	12,000円	
	受講対象	BIMを使用した設計業務に従事する方 本コースは<KA151/KA152> BIMを用いた建築設計技術(モデリング編)を受講された方、または同程度の知識をお持ちの方を対象としています。	
	使用機器	Revit	
持参品	筆記用具		

BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：GLOOBE Architect>

New

建 築 系	コース番号	KA171	訓練内容
	日程	8/20(木) 8/21(金)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIMを活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIMの活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
	訓練時間	12時間	
	定員	10名	
	受講料	12,000円	
	受講対象	BIMを使用した設計業務に従事する方	
	使用機器	GLOOBE Architect	
持参品	筆記用具		



建
築
系

BIM を用いた建築生産設計技術 <使用ソフト：GLOOBE Construction>

New

建 築 系	コース番号	KC181	訓練内容
	日程	9/29(火) 9/30(水)	施工計画/施工管理の生産性向上を目指し、BIMを用いた生産設計実習を通して、生産計画・設計と生産管理に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIMの活用方法 3. 建築生産設計実習 4. まとめ
	訓練時間	12時間	
	定員	10名	
	受講料	12,000円	
	受講対象	BIMを使用した建築設計及び生産設計業務に従事する方	
	使用機器	GLOOBE Construction	
持参品	筆記用具		

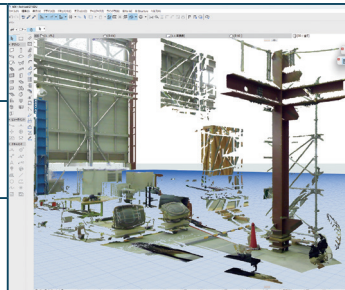


建築設計のためのコンピューショナルデザイン

建 築 系	コース番号	KA191	訓練内容
	日程	6/3(水) 6/10(水)	建築設計の新たなデザインの可能性として、パラメーターを設定し、コンピュータ処理により形態を生み出していく手法を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. コンピューショナルデザインの活用方法 3. モデリング演習 4. 設計演習
	訓練時間	12時間	
	定員	10名	
	受講料	14,000円	
	講師	プロ・デザイン 廣瀬寛騎(工学博士)	
	受講対象	コンピュータを活用し、全く新しいデザインを創造していく設計業務に従事する方	
使用機器	ライノセラフ、グラスホッパー		
持参品	筆記用具		
受講者の声	自分の手で実物とかわらないパースが出来てうれしかった。		

建築生産における3Dスキャナ活用技術

コース番号	KA201	訓練内容
日程	2027 3/23(火) 3/24(水)	建築設計、建築施工の生産性向上をめざして、効率化に向けた3Dスキャナ技術を活用した実測実習、見積書作成実習を通して、リフォーム工事における図面作成・見積作成・中間検査における検査精度向上のための技術を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 3Dスキャナの原理と実例 3. 実測実習 4. 図面作成実習
訓練時間	12時間	
定員	10名	
受講料	8,500円	
受講対象	建築設計及び建築施工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	3Dレーザースキャナ、パソコン	
持参品	筆記用具	



ARを活用した建築プレゼンテーション技法

New

コース番号	KA271	訓練内容
日程	8/17(月) 8/18(火)	建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたAR技術を活用した建築業務に関する実践的なプレゼンテーション技法を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. AR概要 3. プレゼンテーション用素材の作成演習 4. 成果発表 5. まとめ
訓練時間	12時間	
定員	10名	
受講料	14,000	
受講対象	建設業に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	AR作成ソフト、パソコン、タブレット端末	
持参品	筆記用具	



サスティナブル住宅の企画設計

コース番号	KA211	訓練内容
日程	2027 3/15(月) 3/16(火)	住宅の企画設計の新たな品質の創造を目指してサスティナビリティ（持続可能な）社会を踏まえ、ブレインストーミング方式により、サスティナブル住宅の企画・設計要素を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. サスティナビリティ社会と循環型社会 3. 住環境マネジメント（欧米の取り組み） 4. 資産としての住宅 5. まとめ
訓練時間	12時間	
定員	10名	
受講料	16,500円	
講師	・近畿職業能力開発大学校 ・建築家 元京都橘大学教授 竹山清明（予定）	
受講対象	住宅の設計及び施工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担うもの又は候補者	
持参品	筆記用具	



木造住宅における壁量計算技術

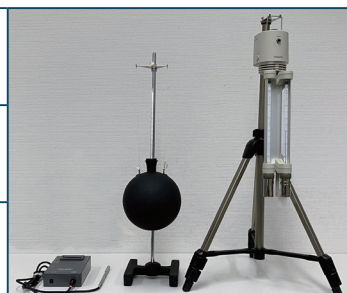
コース番号	KA221	訓練内容
日程	8/20(木) 8/21(金)	木質構造設計の生産性の向上をめざして、法改正に伴う壁量計算を実習を通して効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 木造住宅の構造設計 3. 壁量設計と演習 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	12,500 円	
受講対象	木造住宅設計業務に従事する方	
持参品	筆記用具、電卓	

省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術

コース番号	KA231	KA232	KA233	訓練内容
日程	6/6(土) 6/7(日)	10/3(土) 10/4(日)	2027 1/9(土) 1/10(日)	建築設計において生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 見直し基準の概要 3. 住宅の省エネルギー基準 4. 使用基準 5. 低炭素建築物の新築計画 6. まとめ
訓練時間	12 時間			
定員	10 名			
受講料	8,000 円			
受講対象	建築設計の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者			
使用機器	パソコン			
持参品	筆記用具、関数電卓			
備考	本コースの開催場所は、ポリテクセンター関西（摂津市三島1-2-1）です。			

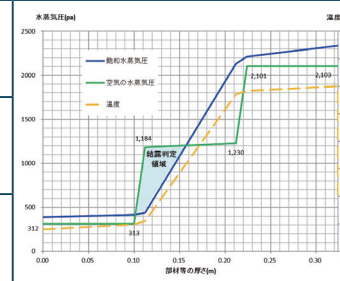
室内温熱環境設計技術

コース番号	KA241	訓練内容
日程	8/6(木) 8/7(金)	建築環境の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた室内温熱環境の計画設計実習を通して、室内温熱環境の設計手法を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 室内空間への要求 3. 室内気候と設備システム 4. 室内のデザインと温熱環境の関係 5. 室内環境計画の実習、発表 6. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	9,000 円	
受講対象	建築計画や建築設備計画の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	温湿度計、風速計、パソコン	
持参品	筆記用具	



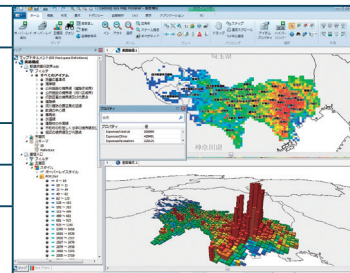
木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法

コース番号	KA251	訓練内容
日程	8/20(木) 8/21(金)	住宅設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた断熱設計実習を通して断熱気密工法と結露防止（防露）に関する技術を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 結露防止のための断熱工法 3. 断熱設計実習 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	8,500 円	
受講対象	住宅設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	パソコン	
持参品	筆記用具、関数電卓	



地理情報システムの運用技術

コース番号	KA261	訓練内容
日程	8/20(木) 8/21(金)	建築情報支援の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた地図を利用した情報管理システム、いわゆる地理情報システム（GIS）の運用技術を習得します。 1. 概論 2. 地理情報システムの操作と活用 3. データベース作成 4. カスタマイズ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	10,500 円	
講師	株式会社インフォマティクス（予定）	
受講対象	建築設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者	
使用機器	パソコン、GIS システムソフトウェア（SIS）	
持参品	筆記用具	
受講者の声	GIS について理解を深めることができ、仕事上地図を使うので今回の研修で応用力が高まった。	



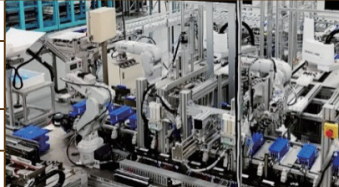
技能継承と生産性向上のためのOJT指導者育成<建設業編>

New

コース番号	PZ192	訓練内容
日程	2027 1/7(木) 1/8(金)	建設業において、現場力強化及び技能継承をめざして業務に携わる指導者が、技能の一層の高度化に向けた能力要件を作成し、かつ、人材育成計画の作成法、作業分析手法、技能指導法（OJT指導法）を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 人材育成実施の要件 3. 人材育成計画作成法（クドバス法、職業能力開発体系の活用） 4. 作業分析法 5. 技術指導法 6. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	建設業に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	パソコン	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの開催場所は、ポリテクセンター関西（摂津市三島1-2-1）です。	


生産機械設備の自動化技術

管理系

コース番号	PA011	訓練内容	
日程	9/7(月) 9/8(火) 9/9(水)	<p>「省力、生産性向上、品質の安定化、技能の高度化と継承」に大きな変化を切望する製造業が、これから避けて通ることができないDX。中でも生産設備の全自動化のプロセスを圧延機の全自動化の具体例を参照します。これを受講者が担当する自社主要設備に置き換えて具体的構想に繋げます。</p> <p>テキストは文言ばかりでなく、多くの写真や図を載せており、話し合いもして、楽しく分かり易い工夫が随所にあります。又、受講者各自の構想を見せ合い、他社の参加者の考え方や意欲を互いに知り合い、刺激し合います。</p> <p>1. コース概要 2-1. 自動化の種類とここでの前提 2-2. 自社、現在の生産方式 3. 要素技術 4. ハンドリング技術 5. アクチュエータ 6. 自動化のメカニズム 7. センサの活用 8. フローチャートで依頼する 9. 自動化システムの設計の前に 10. 自動化設計 例「厚板圧延設備の全自動化」 11. 自動化設計「それぞれの自動化」</p>	
訓練時間	21 時間		
定員	15 名		
受講料	25,500 円		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (予定)		
受講対象	生産ライン・製造設備の自動化・省力化業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
持参品	筆記用具		
備考	本コースの講習時間は、9:00～16:45です。		

製造現場改善の IE 活用技術 ～改善リーダーのためのムダ取り指導方法～

管理系


コース番号	PX121	訓練内容	
日程	5/26(火) 5/27(水)	<p>製造現場に潜む様々なムダの発見と改善方法を学ぶものです。生産期間の短縮、稼働率の向上、サイクルタイム短縮、段取り作業改善、レイアウト改善等で使われるIE手法を体得していただきます。IE手法は、製造現場の責任者だけでなく生産管理者にも要求されるものです。</p> <p>楽しく元気が出る笑いあいの関西風の研修です。</p> <p>IE（作業改善）の目的と手法・手順を演習と講師の経験談でわかりやすく説明します。</p> <p>※IE（アイ・イー）を実習と演習で習得していただきます</p> <p>1. IE（アイ・イー）の概要及び留意事項 ①目的と考え方 ②専門能力の確認 ③重要評価指標など 2. IE分析手法 ①IE分析手法の体系 ②生産期間の短縮手法 ③稼働率の向上手法 3. IE分析演習 ①「製品工程分析」 ②「段取り作業改善」 ③「サイクルタイムの削減」 ④「ワークサンプリング」 ⑤「レイアウト改善」 4. まとめ</p>	
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	13,000 円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典 (予定)		
受講対象	製造業における生産活動に従事する技能・技術者 現場改善の推進者 現場改善の新QCリーダー はじめて現場改善に取り組む人		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット		
受講者の声	ワードの意味や分析方法の理解が深まった。課題解決につながる手法を学ぶことができた。		

管理系

生産現場のための実践作業標準

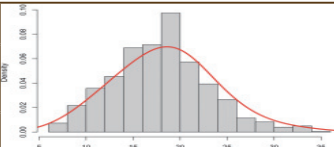
New

管理系

コース番号	PX131	訓練内容	
日程	10/1(木) 10/2(金)	<p>自社固有の生産技術や高精度製品に対する生産・加工作業標準の体系化と作成方法をその場で作成しながら理解します。また、このことは標準を守る習慣や職場の規律を改善しISOの取得や維持及び生産効率や品質の向上にも大きな力になることを学びます。</p> <p>1. コース概要及び留意事項 2. 社内標準体系の作り方 3. 優先順位の考え方 4. 現作業手順と動機付け 5. 作業標準の大系 6. 作業標準の書式要件 7. 作業標準の作成 8. 結果報告会修正と決裁発効 9. まとめ</p>	
訓練時間	12 時間		
定員	15 名		
受講料	16,000 円		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (予定)		
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補		
持参品	筆記用具		


生産現場に活かす品質管理技法

New


管 理 系	コース番号	PX151	訓練内容	
	日程	12/17(木) 12/18(金)	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的手法を通して、統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。適切なサンプル数や母集団の類推も学びます。 1. コース概要及び留意事項 2. 品質管理概要 3. 統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上 4. 生産現場に活用できる応用課題実習 5. まとめ	
	訓練時間	12 時間		
	定員	15 名		
	受講料	16,000 円		
	講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二（予定）		
受講対象	生産効率や品質向上に関し業務改善等の業務に従事する技能・技術者等であって指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者			
持参品	筆記用具、関数電卓			

生産性向上のための統計解析手法を活用した品質管理 ~現場で使うQC7つ道具を表計算ソフトで作成~


New

管 理 系	コース番号	PX161	訓練内容	
	日程	4/16(木) 4/17(金)	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた、ファクトコントロールの考え方を演習を通じて、生産現場で活かせる統計解析手法を学びます。 1. TQMとISO規格 2. 統計解析手法 3. データ分析技術 4. 総合実習	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	16,000 円		
	講師	道廣 敬治（予定）		
受講対象	生産効率や品質向上に関し業務改善等の業務に従事する技能・技術者			
使用機器	パソコン			
持参品	筆記用具			

成功事例から学ぶ品質の維持と向上

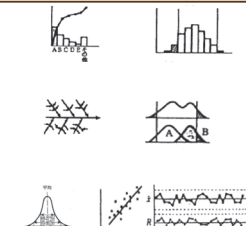
管 理 系	コース番号	PX181	訓練内容	
	日程	7/6(月) 7/7(火)	品質管理の生産性の向上をめざし、品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得します。 1. 品質概論 2. 品質管理の取り組み 3. 品質管理演習 4. 事例と演習から学ぶ品質向上	
	訓練時間	12 時間		
	定員	15 名		
	受講料	14,500 円		
	講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生（予定）		
受講対象	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者など			
持参品	筆記用具			
受講者の声	品質に関して様々な視点から考え学ぶことができました。問題のとらえ方、解決への考え方が学べました。グループ討議でたくさんの意見が聞くことができて良かった。			

製造現場の業務改善のための問題解決技法

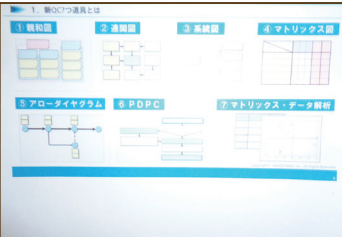
管 理 系	コース番号	PX191	訓練内容	
	日程	2027 1/18(月) 1/19(火)	生産性の向上をめざし、製造現場の諸問題の解決のための進め方・考え方について学びます。 1. 製造現場の問題解決とは 2. 問題発見のポイント 3. 原因の究明対策の実施 4. 業務改善の進め方 5. 総合演習 6. 総括及び評価	
	訓練時間	12 時間		
	定員	15 名		
	受講料	14,500 円		
	講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生（予定）		
受講対象	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者			
持参品	筆記用具			
受講者の声	実際にあった事例を紹介して頂いたので分かりやすかった。不具合が発生した場合の原因追及に大いに活用できる内容だった。問題解決に役立つとともに、楽しい講義だった。			

QC 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証


New

コース番号	PX201	訓練内容	
日程	10/13(火) 10/14(水)	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場で発生する問題を、QC7つ道具を使用して、定性的な問題分析をおこない、解決していくための手法の実践を通して製造現場における品質改善や品質保証を行う能力を習得します。 楽しく元気が出る笑いあいの関西風の研修です。 QCストーリーとQC7つ道具の目的・手順・手法を演習と講師の経験談でわかりやすく説明します。 1. コース概要及び留意事項 2. 品質管理 3. 製造業における定量的な問題の解決技法 4. 総合実習 5. まとめ	
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	12,500 円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）		
受講対象	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者 QC サークル（活動）の推進者 QC サークル（活動）の新 QC リーダー はじめて QC 改善に取り組む人		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット		

新 QC 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証 ~社内不良とクレームの再発防止策を説明します~

コース番号	PX221	訓練内容	
日程	7/21(火) 7/22(水)	新 QC7つ道具の使い方を学び、製造現場での品質改善と品質保証について検討するものです。新 QC7つ道具は、言語データを用いて問題の解決を図っていく手法です。定性的問題（再発防止策が困難な不良）に向いています。演習を中心に行いますが自社の問題点についても検討していただきます。 楽しく元気が出る笑いあいの関西風の研修です。 新 QC 7つ道具の目的と手法・手順を演習と講師の経験談でわかりやすく説明します。 1. 品質管理と品質保証のあり方 2. 製造現場における品質改善の方法 3. 効果ができるクレームの再発防止策の進め方 4. まとめ	
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	12,500 円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）		
受講対象	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者 QC サークル（活動）の推進者 QC サークル（活動）の新 QC リーダー はじめて QC 改善に取り組む人		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット		
受講者の声	とても和気あいあいとした雰囲気楽しく学べた。 道具についての使い方や見えなかった事象が分かってきて楽しかった。 新 QC 7つ道具が理解でき、非常に良かった。		

なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善

コース番号	PX271	PX272	訓練内容	
日程	5/11(月) 5/12(火)	12/14(月) 12/15(火)	工程管理 / 技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けて、問題の真の要因を原理・原則に基づいて追求し、三現主義（現場・現物・現実）で現場改善を実践する手法を習得します。 1. 問題解決の進め方 2. なぜなぜ分析 3. 工程の原理・原則 4. ポカミス防止 5. グループ実習	
訓練時間	12 時間			
定員	15 名			
受講料	14,500 円			
講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生（予定）			
受講対象	工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者			
持参品	筆記用具			
受講者の声	チームを作りリーダーを決めて進めていくスタイルがよかった。チームで協力して問題を解決していく大切さに気付きました。 自社でもある事例を題材にして教えていただいたので理解しやすかった。 単純に知識を得るだけでなく使い方を学ぶことができた。 自分では出てこなかった解決案が出てきた。現場の QC サークルに活用できそう。			

実践生産性改善 ～現場の生産性向上対策を具体的に説明します～

コース番号	PX281	訓練内容
日程	2027 3/9(火) 3/10(水)	生産性と安全性の向上を図るための考え方、改善方法、評価方法を学ぶものです。疑似ラインによるリードタイム短縮、工数削減、省力化、レイアウト改善方法を改善プログラムに基づいて体得していただきます。改善の評価方法についても説明します。ビデオ撮影による作業改善方法もご案内します。 楽しく、元気が出る笑いあいの関西風の研修です。 労働生産性（時間当たりの限界利益向上）の基本知識と実践方法を演習と講師の経験談でわかりやすく説明します。 1. 製造業の背景…生産性向上の必要性 2. 生産性向上のための現場運営の視点 3. 機械加工場の生産性向上対策 4. ライン生産での生産性向上対策 5. 組立作業場の生産性向上対策 6. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	13,500 円	
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）	
受講対象	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット	
受講者の声	現場に近い観点での利益分析と製造の問題の解決方法のヒントをたくさんいただいた。いろいろな意見を聞くことで違う方向性で改善できると感じました。とても分かりやすい説明で理解しやすく、解決の糸口が見つかりました。	



製造業における実践的生産管理 ～改善マインドをもった人材の育成～

コース番号	PX291	訓練内容
日程	8/27(木) 8/28(金)	原理・原則を無視した、特定個人の経験と勘に依存している生産管理の実態から脱却するために、効率的な製造活動を実現するためのあるべき生産管理について実践的に習得し、製造活動におけるさまざまな課題に取り組むことができる能力を習得します。 1. 生産管理とは (1) 生産管理の概要 (2) 各業務別管理の要点 2. 生産管理の実態 (1) 製造企業の生産管理業務の考え方（事例中心） (2) 自社において困っておられる生産管理の問題点と改善方針 3. 生産管理実習 (1) 生産期間短縮のための課題と具体化方針
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	18,000 円	
講師	A E コア(株) 代表取締役 河村 一郎（予定）	
受講対象	製造現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	ケーススタディや体験談が良かった。在庫管理の強化に力を入れているので、トラブル発生時に対応できます。	




製造現場で活用するコーチング手法


コース番号	PZ111	PZ112	訓練内容
日程	5/21(木) 5/22(金)	11/5(木) 11/6(金)	製造現場で日々発生する安全・生産性・デリバリーの課題に対して、どのような解決策があるのでしょうか？また、職場内のコミュニケーション不足が原因で、モチベーションが上がらず、当たり前に行えない職場になっていませんか？本コースでは、製造現場に特化した「コーチング術」を事例や演習を通じて習得します。 1. コーチングとは・・・コーチングの意味と活用の歴史 2. コーチングとティーチングは正しい使い分けが効果的 3. コーチングの対象者とコーチングのメリット・デメリット 4. 効果的なコーチングに必要な基本スキル ・「傾聴」のスキルで相手との信頼関係を築く ・「承認」のスキルでやる気を引き出し相手の可能性を拓く ・「質問」のスキルで相手の期待感を高め行動に変える 5. テイラーメイドコーチングの鍵「4つのタイプ分け」を学び 6. コーチングの実践 7. コーチングによるマネジメント 8. まとめと行動宣言
訓練時間	14 時間		
定員	15 名		
受講料	15,000 円		
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹（予定）		
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	人との関わり方、話す距離感を知識として学べた。相手の気付きを導き出せるような話が出来るように努めていきたいです。		
備考	本コースの講習時間は、9:00～16:45です。		



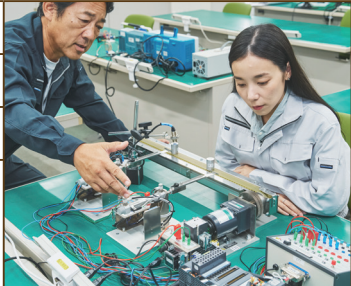
現場の安全確保（5S）と生産性向上 ～5Sによる安全対策とコストダウンを学ぶ～

コース番号	PZ121	PZ122	訓練内容
日程	6/2(火) 6/3(水)	2027 2/9(火) 2/10(水)	生産現場における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。 楽しく、元気が出る笑いあり関西風の研修です。 5S改善による安全対策とコストダウン（ムダ取り）の実践方法を演習と講師の経験談でわかりやすく説明します。 ※色々なムダ取りについて事例を紹介します 1. 経営者が望む5Sの目的と目標 2. 来客者は製造現場のどこを見ているのか 3. 5S改善による安全対策の進め方と事例紹介 4. 5S改善による不良防止・在庫削減・時間短縮方法 5. まとめ
訓練時間	12時間		
定員	12名		
受講料	12,500円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）		
受講対象	生産現場の安全・生産性向上業務に従事する技能・技術者 5S推進者または新5Sリーダー はじめて5S改善に取り組む人		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット、職場危険個所の写真2枚（任意）		
受講者の声	実技でいろいろな考え方で物事を見ることができた。 工数削減、生産性向上につながったと思った。		

製造現場における部下育成に必要な指導能力及び技法

コース番号	PZ131	PZ132	訓練内容
日程	6/11(木) 6/12(金)	12/3(木) 12/4(金)	グループワークを通して、現場リーダーに必要な指導能力や技法について習得します。また現場改善策についても課題解決のステップを通して学びます。指導者に求められる役割・能力（リーダーシップ）の重要性についても身に付けられます。 1. 製造現場における人材育成の重要性 2. 部下育成に必要な基本事項 3. 問題・課題解決をする上でのポイント 4. 指導者に求められる役割・能力 5. 事例演習 6. 総括
訓練時間	12時間		
定員	15名		
受講料	13,500円		
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹（予定）		
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	部下への教育や指導で自分がネックになっている所を教えて頂き大変ためになりました。 略されている言葉の意味や今更聞けない内容も細かく教えてくれたので大変良かったです。 コーチングについてワーク中心で勉強したため、職場ですぐに活かせる。		

技能伝承のための部下・後輩指導育成 ～技術・技能伝承を先送りしない！技能伝承の課題を解決～

コース番号	PZ141	訓練内容	
日程	9/17(木) 9/18(金)	ものづくりに必要な技術は、人を通してでないと伝承できません。現在高度な技術を持つ人材はどんどん高齢化してきており、この技能を効率よく部下・後輩に伝承することが焦眉の急となっています。高度技能を持った人材が、その持てる技能を部下・後輩に効率よく伝承する人材の育成法を学びます。 1. 技能伝承の原則 2. 技能伝承がうまくいかない原因とは 3. 技能伝承の進め方 4. 暗黙知の扱い方 5. 熟練者へのインタビューの具体的な進め方 6. 能力項目リストについて 7. 技能伝承のための計画作成 8. 技能伝承で「教える側」「教わる側」が注意すべきこと 9. まとめ	
訓練時間	12時間		
定員	15名		
受講料	13,500円		
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹（予定）		
受講対象	品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	具体的な伝承方法を教わり、社内に展開する際の土台を構築することができた。 多能工化推進に役立つので、このコースで学んだ教育手法を職場で取り入れたい。 自分が担当していた業務を若い社員に教える時に「業務の言語化」が大切であることがわかった。		

製造現場担当者の実践力向上

コース番号	PZ151	訓練内容
日程	4/6(月) 4/7(火)	製造現場における生産性の向上をめざして、製造現場担当者の問題発生時対処の迅速化及び、積極的に問題解決と意思決定していくための手法を習得します。 1. オリエンテーション 2. 製造業現場における担当者の必須スキル 3. 製造現場での着眼点 4. 製造現場での自身の行動課題演習
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生 (予定)	
受講対象	報連相や現場の規律を再確認し、仕事の進め方のレベルアップをはかりたい方	
持参品	筆記用具	



仕事と人を動かす現場監督者の育成

コース番号	PZ161	訓練内容
日程	10/13(火) 10/14(水)	製造現場における作業段取りや指示、後進育成などの技能伝承を目指して、現場のリーダーとして身につけておく基本スキルを確認し、監督者として担当者との関わり方や仕事と現場を動かしていくためのポイントを習得します。 1. 現場監督 (主任) の役割 2. 現場監督 (主任) に求められる事 3. より良い現場監督 (主任) 4. 自己啓発計画書の演習
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 代表取締役 松嶋 清秀 (予定)	
受講対象	現場監督者または監督候補者 (実務経験を5年以上有する技能・技術者が望ましい)	
持参品	筆記用具	



生産現場で活用するリーダーシップ手法 ~成果が出せるチーム作りに必要なリーダーシップを目指して~

コース番号	PZ171	訓練内容
日程	10/22(木) 10/23(金)	現在の製造現場では、“安全・品質・生産性・コスト・納期・3S・品質改善・生産性改善・部下指導”に対する能力が高く求められるようになり、強い意志や能力、専門的な知識が益々求められるようになっていきます。一方足下では、自らも仕事を持っていたりして、十分に管理監督に時間や能力を割くことができません。部下が育ち、率先して動くチームであれば、心に余裕を持てるでしょう。しかし現実には全くそのようにはなっておらず仕事の負荷は高まり部下やチームに対する不満やイライラは募るばかり・・・。そのようなチームにつける薬は共感力を伴ったリーダーのあり方です。本コースでは、共感的なリーダーのあり方 (サーバントリーダーシップ) からハラスメントを生まない部下とのコミュニケーション (アンガーマネジメント)、職場の品質、生産性を向上させる具体的な改善手法と部下と共にすすめる改善活動 (チーム活動) を学びます。 1. コース概要及び留意事項 2. 生産現場とリーダーシップ 3. 現場管理者がめざすもの 4. リーダーシップの要点 5. 共感的リーダーシップの必要性 6. リーダーが身につけるべき対話術 7. 主体的活動を生み出すチーム活動のすすめ 8. 生産現場における事例演習 9. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	13,500 円	
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹 (予定)	
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	リーダーとして部下への関わり方について新たな発見がありました。	



製造現場における生産実務と安全衛生

コース番号	PZ181	訓練内容
日程	2027 2/24(水) 2/25(木)	工業製品製造における生産計画／生産管理の業務を通して生産性向上を目指して、最適化（改善・改革）、安全性向上に向けた業務に携わる方のためのセミナーです。これらの担当者が、作業手順書の作成及び安全衛生業務の演習・実習を通して、新人や未習熟者に手順書に従った作業を指導し、かつ、安全対策・危険予知の指導ができる技能を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 生産業務の種類 3. 熱間圧延設備の設備構成要素 4. 同設備のDX「全自動化」によるオペレーション 5. 技術文書作成の要点 6. 安全衛生管理の業務内容 7. 危険予知活動の方法 8. まとめ「今日の成長を明日からの業務につなぐ」
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	16,000 円	
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二（予定）	
受講対象	製造業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具、電卓（又は携帯電話の電卓機能）	



技能継承と生産性向上のための OJT 指導者育成

コース番号	PZ191	訓練内容
日程	4/27(月) 4/28(火)	生産現場において、現場力強化及び技能継承をめざして業務に携わる指導者が、技能の一層の高度化に向けた能力要件を作成し、かつ、人材育成計画の作成法、作業分析法、技能指導法（OJT 指導法）を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 人材育成実施の要件 3. 人材育成計画作成法 4. 演習：OJT 人材育成計画の実際 5. 作業分析法の例「ワークサンプリング」を知る 6. 演習：「ワークサンプリング」で作業分析を行う 7. ワンポイント標準の作成 8. まとめ「今日の成長を明日からの業務につなぐ」
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	16,000 円	
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二（予定）	
受講対象	製造業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具、電卓（又は携帯電話の電卓機能）	
受講者の声	IE 分析を学んだので、早速業務で活用できそうです。	



ヒューマンエラー防止実践手法 ～指差し呼称と SHEL「シェル」モデルで約8割減らせませす～

コース番号	PZ201	PZ202	訓練内容
日程	4/21(火) 4/22(水)	8/4(火) 8/5(水)	製造現場における生産性の向上を目指して、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたヒューマンエラーの現状や発生のメカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）を講じるための能力を習得します。ヒューマンエラーの体験を通して、原因追求や予防策をグループ演習とディスカッションで体得していただきます。ヒューマンエラー防止策の事例と SHEL モデルを紹介します。楽しく元気になる笑いあいの関西風の研修です。 ヒューマンエラーの基本対策である SHEL モデルをわかりやすく説明します。 ※受講者の持参写真で改善策を考えていただきます。持参写真は任意です 1. コースの概要及び留意事項 2. ヒューマンエラーの定義と発生メカニズム 3. 演習によるヒューマンエラーの体験と対策の習得 4. 指差し呼称と SHEL モデルによるヒューマンエラーの防止策方法 5. 自職場のヒューマンエラー対策の検討 ※危険箇所の安全策検討 6. まとめ
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	13,000 円		
講師	(株) 実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）		
受講対象	製造現場において安全管理や作業管理等の業務に従事する技能・技術者 安全衛生推進者と5S 推進者 はじめて5S 改善に取り組む人		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット、職場危険箇所の写真1枚（任意）		
受講者の声	自分自身のスキルアップになりました。部下にもいかしたいです。		



よくあるご質問

Q1 セミナーの申込み方法は？

A

お申込みはFAX・メールで受け付けております。

「能力開発セミナー受講のご案内」（3ページ）をお読みいただき、巻末の受講申込書やHPにある申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX・メール・オンラインフォームにて送信してください。

・令和8年度途中より、**全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。詳しくは、ホームページ上でお知らせする予定です。**

Q2 セミナーの応募状況を知りたい場合は？

A

お電話・メールでお問い合わせください。コースごとの応募状況をお伝えします。

定員に達している場合は「キャンセル待ち」となります。

Q3 セミナーの申込み後に受講者を変更することは可能ですか？

A

可能です。まずはお電話にてご連絡いただき、受講者変更届等に変更された方の受講者名（ふりがな）、生年月日等をご記入のうえ、FAX・メールにて送信してください。

Q4 受講料の支払い方法は？

A

開催の約1カ月前に送付させていただく請求書に振込先等を記載しておりますので、セミナー開始14日前までに、お振込みください。なお、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

Q5 申込みをキャンセルする方法は？

A

できるだけ早めに「キャンセル届」等にキャンセルの旨をご記載いただき、必ずFAX・メールにてご連絡ください。なお、セミナー開始14日前（土・日・祝日を含む）までにキャンセル手続きされた場合は受講料を返金いたしますが、それ以降のキャンセルについては返金できませんのでご注意ください。

Q6 昼食をとるところはありますか？

A

平日は食堂（学生ホール）をご利用いただけます。ただし、土日祝日は営業しておりません。

Q7 車でセミナー会場に行けますか？

A

施設内に無料駐車場がございます。

オーダーメイド型能力開発セミナーのご案内

貴社のニーズに合った社員教育をお手伝いします！

オーダーメイド型能力開発セミナーは、**貴社の社員教育に関するご要望（教育内容、日程、場所等）**に合わせて実施するものです。

「セミナーガイドに掲載された〇〇のコースを別日程で受けさせたい」というオーダーはもちろんのこと、「こんな技術が学べる研修をしたい」、「こんな課題を解決できる研修をしたい」など、貴社のご要望に応じた教育カリキュラムを提案させていただきます。ただし、カリキュラムの策定にあたっては、当大学校の規定に準拠するように調整させていただく場合があります。

以下のような場合は、ぜひオーダーメイド型能力開発セミナーをご利用ください。

■ 社員教育を実施したいが

- 本セミナーガイドに掲載されているセミナーを受講させたいが、日程が合わない。
- 社員教育を行いたいが、当大学校のレディメイド型セミナーに適切なコースがない。
- 自社の教育ニーズに合った研修を実施したい。
- 自社の施設・設備を使用して研修を実施したいが、講師がいない。 等々

ご相談から実施までの流れ

相 談

貴社のご要望（教育内容、日程、場所など）をお伺いします。
なお、能力開発セミナーとして実施するには訓練時間 12 時間以上(1 日 6 時間として 2 日間以上)です。定員は基本的に5名以上となります。

ご 提 案

ご要望に応じて教育カリキュラムを作成し、ご提案します。
訓練内容、実施日程、受講者数を確定したのち、見積書をご提案します。

実 施

実施場所は原則として当大学校となりますが、内容によっては講師派遣により貴社指定施設での出張セミナーとして実施することもできます。

オーダーメイド型能力開発セミナーの対応分野

機 械 系

機械加工、NC 加工、機械設計（CAD・CAM・CAE）、精密測定、材料試験等

電 気 ・ 制 御 系

高圧受電設備技術、省エネ・太陽光発電設備技術、電気安全、シーケンス制御、コンピュータ制御、自動化システム技術、フィードバック制御等

電 子 ・ 情 報 通 信 系

電気・電子回路技術、CAD / CAM 技術（回路設計技術）、計測技術、プログラミング言語・技法、システム設計、データベース、信号処理・画像処理、通信・ネットワーク、組込み技術等

建 築 系

建築計画（法規、省エネ、リノベーション）、建築設備（環境、空調、電気、給排水設計）、建築構造・施工（保有耐力、限界耐力設計、時刻歴地震応答解析、新構造物の開発・性能実験）等

管 理 系

生産管理、品質管理、工程管理、原価管理、現場改善、ヒューマンエラー対策、コーチング等



お問合せ先



近畿職業能力開発大学校
援助計画課 TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751
E-mail : kinki-seisan@jeed.go.jp

オーダーメイド型能力開発セミナー実施実績

これまで、多くの企業・事業主団体からのご要望にお応えし、下記のようなオーダーメイド型能力開発セミナーを実施しています。

【実施事例 1】

コース名「旋盤加工技術」
セミナー形態：オーダーメイドセミナー



企業：サノヤテクノサポート株式会社様
実施場所：近畿職業能力開発大学校

【企業・事業主団体の声】

当社では、技術系大卒新入社員のオンボーディングを目的に、入社後半年間に渡り技術研修を行っています。電気・制御・機械についての知識やものづくりに関する技術を習得するため、実践的に学べる近畿職業能力開発大学校のレディメイドおよびオーダーメイドセミナーを研修期間の前半で利用させていただきました。当社都合で3カ月の間に旋盤加工技術を含めた16講座を受講する計画であったにもかかわらず、日程調整等こちらの要望にもきめ細かくご対応いただき非常に感謝しています。

また、研修から戻ってきた新入社員の様子から、この研修が非常に有意義なものになったと確信しています。
(2025年7月)

【実施事例 2】

コース名「ロボットシミュレーション活用技術」
セミナー形態：オーダーメイドセミナー



企業：株式会社クボタ様
実施場所：近畿職業能力開発大学校

【企業・事業主団体の声】

当社では、製造・生産技術部門配属の大卒新入社員に、約9ヶ月間の教育を行っていますが、その一環で育成対象者の技術知識習得を目的として、シーケンス制御・PLC制御・ロボットシミュレーションなどの近畿能開大のオーダーメイドセミナーを活用させていただきました。毎年、学生の授業スケジュールを調整していただき、育成対象者の一人ひとりが、座学で学んだ機器に触れ、実際に作業する「実学一体」の訓練を無事受講できたおかげで、ものづくりの知識を効果的に習得させることができました。今後も近畿職業能力開発大学校のオーダーメイドセミナーを活用していきたいと考えています。
(2025年8月)

【実施事例 3】

コース名「仕事と人を動かす現場監督者の育成」
セミナー形態：出張型オーダーメイドセミナー



事業主団体：一般社団法人神戸市機械金属工業会様
実施場所：公益財団法人神戸市産業振興センター様

【企業・事業主団体の声】

当会では、平成25年から近畿職業能力開発大学校様にご協力を頂き、中小製造業向けの研修を提供しています。例年、新年度向け研修ニーズアンケートに基づき会員企業へヒアリングを実施し、機械技術系や管理系セミナーを会員の要望に合わせて開講しています。どの研修も熱心な講師と、様々な趣向を凝らした講義内容で、会員企業からも多くの嬉しい声を頂戴しています。様々な企業と一緒に参加するオーダーメイド型研修のため、会員企業間の交流にもつながり、スキルアップと意識の向上にも役立っています。

(2025年6月)

技術支援のご案内

技術的な課題を一緒に解決しましょう！

近畿職業能力開発大学校では、技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等に係る技術支援を行っています。技術的問題をお持ちの場合は、ご相談ください。

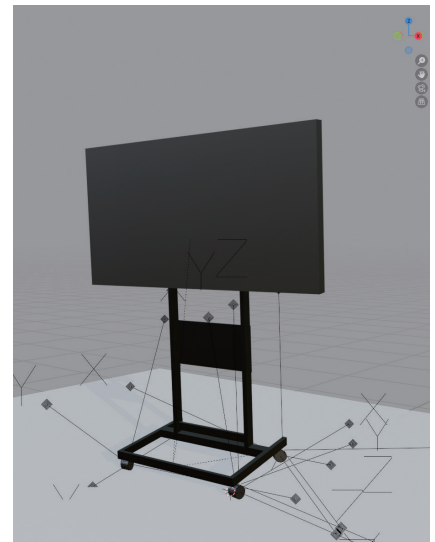
共同研究として取り組んだ事例

共同研究は、製造上のトラブルや技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等、企業が抱える技術的な課題について、企業と当大学の教員とが共同して研究を行うものです。

1. ディスプレイスタンド等の強度・耐震性能向上手法に関する開発[令和6年度]

直下型地震のような短い周期成分を有する地震が発生した際、建物本体のみならず建物に収容している家具、調度品、家電製品などが転倒、激突することにより物的被害はもとより人的被害が発生していることが知られています。この研究では主として中型（60型程度）のディスプレイスタンド等の強度・耐震性能向上に関する研究・開発を行っています。

当校で所有する振動実験装置を用い震度6弱の振動で加振しても転倒しないという安全性と脚部の小型化の両立を目標としました。こうした実験によりディスプレイスタンドの脚部の寸法を検討し安全性と両立する寸法を決定しました。また3DCGソフトウェアを用いて地震の震動によるディスプレイスタンドの挙動をシミュレーションする方法にも取り組んでいます。



2. 令和6年度共同研究実績

- 建築構造材としての竹材の防虫防腐処理の確立と構造性能に与える影響および竹集成材の構造性能に関する研究
- 木質複合柱梁材の研究開発
- 伝統構法木造建築物に用いられる竿車知継手を有する柱-梁接合部の曲げ性能に関する実験的研究
- スマート農業に関する圃場への遠隔監視システムの開発
- ディスプレイスタンド等の強度・耐震性能向上手法に関する開発
- リアルタイム画像処理鋳巣検知機能を有した真円度形状寸法測定機の開発
- 触覚付き5本指ハンドの開発



お問合せ先



近畿職業能力開発大学校
援助計画課 TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

事業主推薦制度のご案内

社員の方にポリテクカレッジ（2年間）へ入校いただき、長期の人材育成を行う、それが『**事業主推薦制度**』です。

事業主推薦制度の概要

● **対象者** 事業主が推薦する方で、次の（１）、（２）のいずれかの条件を満たす方

【専門課程】

（１）学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込の者も含む）

（２）上記（１）と同等以上の学力を有すると認められる者

【応用課程】

（１）専門課程の高度職業訓練を修了した者（応募科と同系に限る）

（２）実務経験その他により専門課程の高度職業訓練を修了した者と同等以上の技能及びこれに関する知識を有すると認められる者

● **経費**

	入校料（初年度）	授業料（年間）	テキスト代等（※）
専門課程	169,200円	390,000円	5万円～10万円程度
応用課程	112,800円	390,000円	5万円～10万円程度

（※）テキスト代等は訓練科によって異なります。



事業主推薦制度は国の助成金「人材開発支援助成金」が利用できます！

● **制度利用の流れ**



企業 Company

- 普通高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい
- 若手社員に基礎から学ばせ、技術力を高めさせたい
- 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい

社員をポリテクカレッジへ

入社 1～3年目の若手社員の方へ

基礎から応用まで
しっかり学べる

専門課程
基礎からしっかり学び、現場に即した実習に取り組むことにより、現場に対応できる実践力が身につきます！

募集科
生産機械技術科
電気エネルギー制御科
電子情報技術科
住居環境科

各
2
年
間
の
訓
練

入社 3～10年目の若手社員の方へ

ものづくりの一連の
流れを理解できる

応用課程
基本的な仕組みを理解した上で、企画・設計・製作のプロセスを体験し、応用力や分析力が身につきます！

募集科
生産機械システム技術科
生産電気システム技術科
生産電子情報システム技術科
建築施工システム技術科

修了後のイメージ Future Image

各部門の架け橋となる人材（実践技能者）
ものづくり現場のプロフェッショナル

お問合せ先

近畿職業能力開発大学校
学務課 TEL 072-489-2112

各種支援制度のご案内

能力開発セミナーの受講にあたり、以下の各種制度が活用できる場合があります！

- 注1) 各種支援制度は、令和7年12月時点のもので、制度の廃止・変更等が行われる場合があります。ご利用の際は、各行政機関のお問い合わせ先にご確認ください。
- 注2) 他の行政機関等についても、同様の支援制度を実施している場合がありますので、詳しくは事業所が所在する市役所、ハローワーク、労働局等にお問い合わせください。
- 注3) 当大学校で実施している能力開発セミナー（在職者訓練）は、高度職業訓練の専門短期課程に該当します。

大阪労働局 ～人材開発支援助成金のご案内～

事前に所定の届出手続きを行った中小企業事業所に対して、人材開発支援助成金による訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成の活用ができる場合があります。（助成対象となる訓練コースには、訓練時間数等の要件があります。）

※詳しい申請要件・方法、必要な申請書類等は、厚生労働省ホームページ又は下記問い合わせ先にご確認ください。

大阪労働局助成金センター TEL 06-7669-8900

◎申請様式等のダウンロードなどはWEBでも実施できます。[人材開発支援助成金](#)



岸和田市 ～「がんばる岸和田」企業経営支援補助金(区分：人材育成)のご案内～

岸和田市では、市内の中小企業や中小企業交流団体が、そこに勤務する役員または従業員に対して実施する研修事業について、費用の一部を補助しています。

岸和田市魅力創造部産業政策課 事業者支援担当

TEL 072-423-9485



和泉市 ～中小企業振興対策事業補助のご案内～

和泉市では、さまざまな経営課題にチャレンジしている中小企業者を応援しています。事業主または従業員が対象の外部機関で行う研修等の修了に要した費用を補助します。

注意：予算がなくなり次第、受付を終わります。

和泉市役所環境産業部産業振興室商工来訪促進担当 TEL 0725-99-8123

富田林市 ～中小企業人材育成事業補助（研修機関派遣）のご案内～

富田林市では、本店を市内に有する中小企業者等が、研修のため市内で勤務する役員または従業員を市が規定する研修機関に派遣する場合、受講料の一部を補助します（事前申請が必要になります）。

富田林市産業まちづくり部商工観光課 TEL 0721-25-1000

八尾市 ～意欲ある事業者経営・技術支援補助金制度のご案内 (パワーアップサポート)～

八尾市では、市内の中小企業又は中小企業交流団体が、新製品・技術開発、新分野進出等経営・技術革新のために要した費用の一部を補助しています。

八尾市役所 産業政策課 TEL 072-924-9356

大東市 ～中小企業人材育成支援補助金制度のご案内～

大東市では、市内の中小企業者に対して人材（代表者、役員等を含む）のスキルアップを目的とした、大学及び公的機関等による各種研修の受講料を補助しています。

大東市役所 産業・文化部 産業経済室 産業振興グループ TEL 072-870-4013

交野市 ～産業人材育成事業のご案内～

交野市では、技術・商品等の開発や経営力の強化等に関する研修会、講座等の受講に掛かる費用の一部を補助しています。

交野市役所地域振興課 TEL 072-892-0121

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業・事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。ポリテクセンター関西に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的な知見とノウハウを持つ民間機関等に委託し、ものづくり分野だけでなく、あらゆる業種の中小企業等の課題やニーズにあわせ、さまざまな内容・分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで、従業員の労働生産性向上をお手伝いします。

能力開発セミナーと併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

- ・生産性や品質管理について学びたい。
- ・業務プロセスを改善して効率性を高めたい。
- ・RPA・DX等の新技術を導入・活用したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・プロジェクトの管理手法を学びたい。
- ・中堅・ベテラン従業員の持つ技術やノウハウを後輩の従業員に継承させたい。

- ・顧客の拡大や満足度の向上を図りたい。
- ・マーケティングや戦略について学びたい。
- ・新しい企画や開発について学びたい。

- ・データ処理の作業を効率化したい。
- ・データを業務改善に活用したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

生産・業務プロセスの改善

- ・生産現場の問題解決
- ・品質管理基本/実践
- ・在庫管理システムの導入
- ・DXの導入 など

横断的課題

- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

売上げ増加

- ・提案型営業手法/実践
- ・インターネットマーケティングの活用 など

IT業務改善

- ・業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 など

※上記のほか、企業・団体の生産性向上に関する様々な課題の解決や現場力の強化に関するカリキュラムをご用意しています。

お問い合わせ ポリテクセンター関西 生産性センター業務課

TEL.06-7670-7007 FAX.06-6383-0961

E-mail : kansai-seisan@jeed.go.jp

生産性センターの
ご案内ページへ▶



さらなるスキルアップを
目指すなら！

高度
ポリテクセンター

高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。

人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
- 見て触って理解する金型技術
- 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析
- ロボットシステム設計技術
- 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
- マイコン制御システム開発技術

※詳しくは、公式サイトをご覧ください。

お問合せ先

高度ポリテクセンター

- 〒 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
- ☎ 043-296-2582
- ✉ kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト

施設・設備利用のご案内

企業・事業主団体の皆様が行う教育訓練や研修の場として、当大学の施設・設備の開放を行っています。

主な研修室・実習場（例）



視聴覚ホール

- ・約 300 人を収容可能、講演会等に最適です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円～1,750 円で、冷暖房の有無によって異なります。



大研修室

- ・2 室をつないで利用する大研修室には、約 60 人を収容可能、研修会に最適です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円～950 円で、冷暖房の有無によって異なります。
- ・他に小・中の研修室があり、利用料金は 300～500 円です。



機械実習場

- ・旋盤やフライス盤等、各種機械加工機が整備されている実習場です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 550 円～1,050 円で、暖房の有無によって異なります（機器使用料は別）。

主な訓練用機器（例）



NC旋盤

- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円です。



3次元測定器

- ・利用料金は 1 時間あたり 450 円です。



万能試験機

- ・建築材料をテストする万能試験機で、利用料金は 1 時間あたり 250 円です。

【ご利用にあたって】

- ① 上記の他に利用できる施設・設備も多数ありますので、詳細はお問い合わせください。
- ② 利用時間は原則として 9:00～20:00（土日祝日は原則 9:00～16:30）です。
- ③ 1 時間単位でのご利用となります。1 時間に満たない端数は切り上げとなります。
- ④ 警備員費を別途ご負担いただきます。
- ⑤ 当大学校指導員の指導・監督が必要となる場合は、講師料を別途ご負担いただきます。
- ⑥ 訓練機器の利用時に必要となる消耗品は、利用者にてご準備ください。
- ⑦ 利用料金は、令和 7 年 12 月時点のもので、変更等が行われる場合があります。



お問合せ先



近畿職業能力開発大学校
援助計画課 TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

2026年度 能力開発セミナー受講申込書

近畿職業能力開発大学校
能力開発セミナー担当 行

FAX : 072-479-1751

E-mail : kinky-seisan@jeed.go.jp

受付 NO (機構使用欄)	
------------------	--

次のセミナーについて、訓練内容等を確認のうえ、申し込みます。

年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日 月 日	ふりがな 受講者氏名 男・女	生年月日 (西暦) 年 月 日	就業状況 (※4) □1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	備考 (関連する経 験年数)
		月 日	男・女	年 月 日	□1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	□1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	□1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	□1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	□1. 正社員 □2. 非正規雇用 □3. その他	

- ※1 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
- ※2 コース開始日14日前(土日・祝祭日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- ※3 納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。
- ※4 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※5 セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、今回、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲で【備考】欄にご記入下さい(例: 切削加工作業に約5年間従事→5年)。

		I D (機構使用欄)	
法人名	事業 所名		
法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人		
所在地	〒	業 種 (該当に○印)	A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
企業規模 (該当に☑印)	□ 1~29人 □ 30~99人 □ 100~299人 □ 300~499人 □ 500~999人 □ 1000人以上		
申込担当者名 (※1)	所属部署	TEL	FAX
	担当者名	メール	
受講区分 (該当に☑印)	□会社からの指示による受講(※2) □個人で自己受講		

- ※1 受講可否等の連絡先となりますので、必ずご記入をお願いします。
- ※2 受講区分の「会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

個人でお申し込みの方で、ご自宅へ書類を郵送希望される場合は、必ずご記入下さい。

住 所	〒	TEL
		FAX 又は メール

【個人情報の取扱いについて】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発業務に関する案内に利用させていただきます。受講区分「会社からの指示による受講」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

お問い合わせ先

近畿職業能力開発大学校 援助計画課 TEL 072-489-2114
〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1

機 構 使用欄	□入力 (/)	□受理 (/)	□受講 (/)
------------	-----------	-----------	-----------

*コピーしてご使用下さい。

能力開発セミナーキャンセル・受講者変更届

近畿職業能力開発大学校

FAX:072-479-1751

能力開発セミナー担当 行

E-mail:kinki-seisan@jeed.go.jp

・申込担当者の連絡先をご記入ください。(個人でお申し込みの場合は日中ご連絡がとれる電話番号をご記入ください)

会社名		電話番号	
申込担当者	(部署名) (氏名)	FAX番号 E-mail	

下記のコースに申し込みましたが、都合により下記のとおり**キャンセル**いたします。

コース番号	コース名	開始日	受講者氏名	受講料
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)

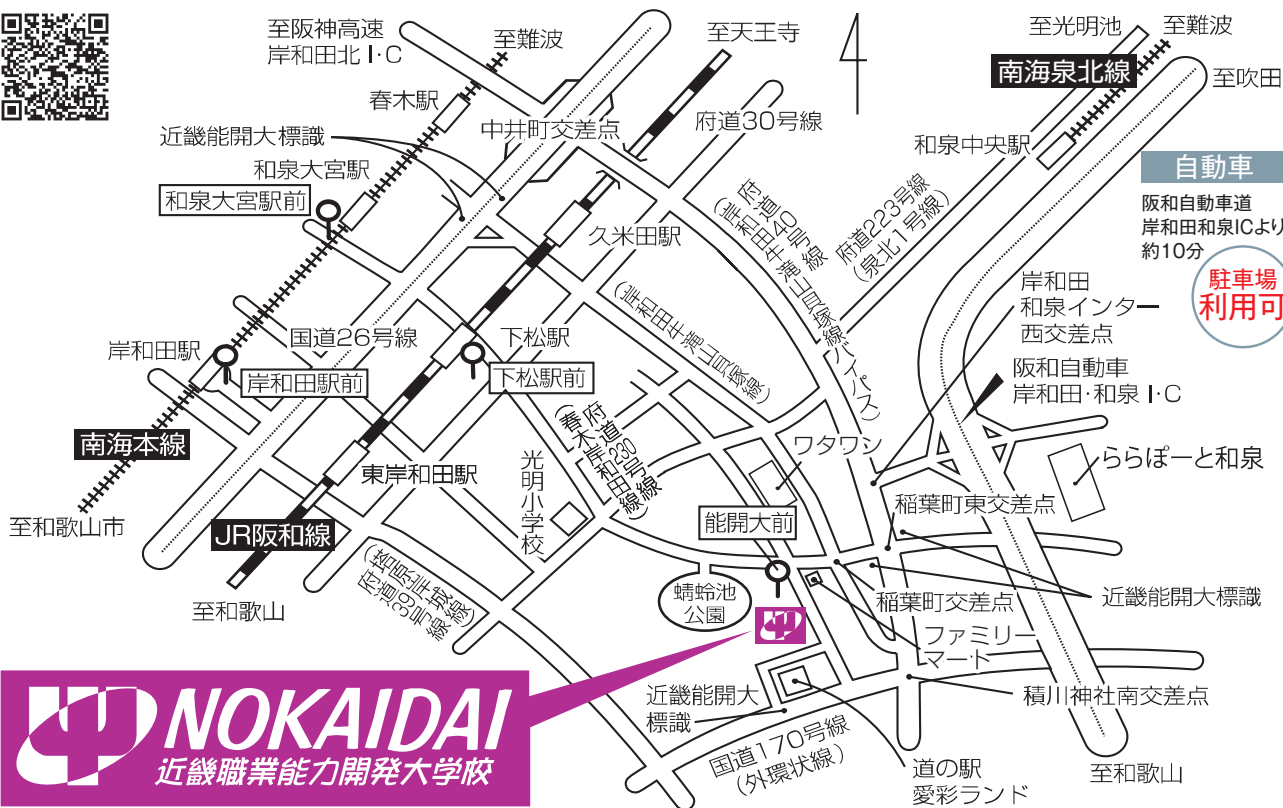
(注意) コース開始14日前(土日・祝祭日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。

お電話でのご連絡後、必ずこの届をFAXまたはE-mailで送付願います。

下記のとおり、**受講者の変更**をいたします。

コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者名(変更前)	ふりがな 受講者名(変更後)	生年月日 (西暦)
		月 日			男・女
		月 日			男・女

※ご記入いただいた情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理(キャンセル・受講者変更)に利用させていただきます。



自動車
阪和自動車道
岸和田和泉ICより
約10分

**駐車場
利用可**

JR下松駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

(参考) 平日バス時刻表
行き「JR下松駅」発 8:17 9:03
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:06 17:51

所要時間
約**20分**

南海岸和田駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

(参考) 平日バス時刻表
行き「南海岸和田駅」発 8:07
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:06 17:51

所要時間
約**30分**

南海和泉中央駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

(参考) 平日バス時刻表
行き「和泉中央駅」発 9:05
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:16 17:46

所要時間
約**20分**

※JR下松駅発、南海岸和田駅発、南海和泉中央駅発および職業能力開発大学校前発の平日バス時刻表は2025.12現在のものです。

能力開発セミナー
『社員教育を実施したい!』
『技術のレベルアップをしたい!』

近畿能開大では、機械、電気・制御、電子・情報通信、建築、管理系の教育訓練コースを多数、ご用意しています。

技術支援
『技術的な課題を一緒に解決しましょう!』

企業で悩んでいる技術的な課題について、企業と近畿能開大と一緒に解決します。

施設・設備の開放
『近畿能開大の施設・設備を利用できます!』

企業や事業主団体の研修に近畿能開大の教室や機器等をご利用ください。

【お問合せ先】
近畿職業能力開発大学校

〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1
援助計画課 TEL(072)489-2114 FAX(072)479-1751
<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/>